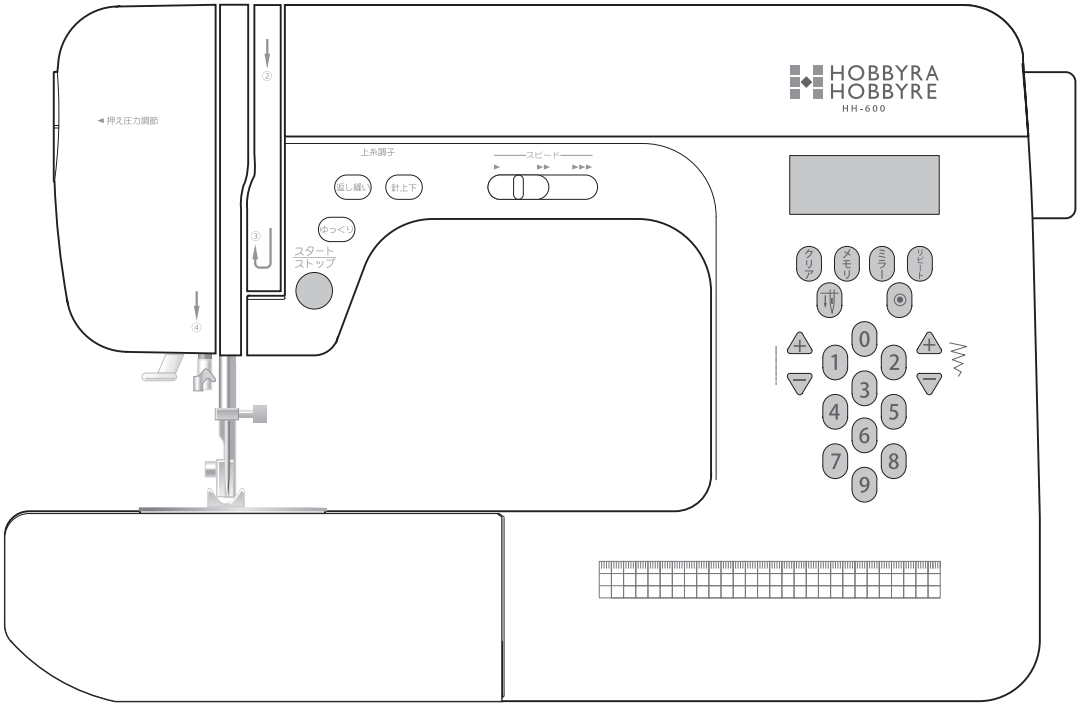
取扱説明書

型式：HH-600

Computer Sewing Machine



お買い上げいただきありがとうございます。

株式会社 アックス ヤマザキ

⚠ 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らなければ、火災や人身事故になる場合がございます。
この「取扱説明書」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、この製品を安全にご使用ください。

また、お読みになった後はいつでも見ることが出来るように、必ず保管してください。

もくじ

お使いになる前にお読みください

安全上のご注意 ---- 2
取り扱いのお願い ---- 3
付属品 ---- 4
各部の名まえ ---- 5
補助テーブル ---- 6
ワイドテーブル ---- 6

操作の仕かた

返し縫いボタン ---- 7
ゆっくりボタン ---- 7
針上下ボタン ---- 7
ドロップフィード（送り歯高さ切り替え）---- 7
押え圧力調節ダイヤル ---- 7
押え ---- 8
押えホルダーの外しかた・付けかた ---- 9
電源を入れる前に ---- 10
電源を入れる ---- 10
スピード調節 ---- 11
フットコントローラー ---- 11
操作パネル ---- 12
模様の選びかた ---- 13

縫う前の準備

ボビンの取り出しかた ---- 14
下糸の巻きかた ---- 14
下糸のセット ---- 15
上糸の掛けかた ---- 16
針穴糸通し器 ---- 17
下糸の引き上げかた ---- 18

縫ってみる　＜基本編＞

直線縫い ---- 19
返し縫い ---- 20
針、糸、生地の関係 ---- 20
糸調子の合わせかた ---- 21
縫い目の長さを変える ---- 22
針位置を変える ---- 22
縫い方向を変える ---- 23
厚地を縫う ---- 23
伸縮生地を縫う ---- 23
伸縮生地を縫う：スムース押え ---- 24
伸縮生地を縫う：上送り押え ---- 24

縫ってみる　＜応用編＞

縁かがり縫い ---- 25
ロックカッター ---- 26
文字縫い・絵柄縫い・飾り縫い ---- 28
スモッキング ---- 30
パッチワーク ---- 31
アップリケ ---- 31
スカラップ ---- 31
ゴムテープ付け ---- 32
まつり縫い（ブラインドステッチ）---- 32
ギャザー押え ---- 33
ピンタック ---- 34
シェルタック ---- 34
ステッチガイド ---- 35
ガイド押え ---- 35
ファスナー付け＜突き合わせ＞ ---- 36
ファスナー付け＜脇あき＞ ---- 37
コンシール®ファスナ付け ---- 38
ボタンホール縫い ---- 40

お手入れ

針の取り替えかた ---- 42
正しい針の選びかた ---- 42
ボビンケースのそうじ ---- 43

その他

縫い模様一覧 ---- 45
困ったときは… ---- 46
仕様 ---- 47
修理サービス要領 ---- 48
お問い合わせまたはご相談先 ---- 48
サービス工場のご案内 ---- 48
保証書 ---- 終

＊ コンシールは YKK 株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only.国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証は出来ません。
●仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることをご了承ください。
●取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	**注意**	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じる恐れがある内容を示しています。

この説明書で使用している絵文字の意味は次の通りです。

危険性を促す記号			行為を「禁止」する記号		行為を「指示」する記号	
						
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります	禁止	分解禁止	必ずすること	電源プラグを抜く

注意



ケガや財産に損害が生じる恐れがあります。



- 不安定な場所に置かないでください。
- 動作中に、はずみ車・針・天びんに手を触れないでください。
  手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
- 曲った針は使わないでください。
  針が折れ、ケガの原因になります。
- ボビンカバーを開けたままミシンを操作しないでください。
- 縫製中に生地を無理に引っぱったり押したりしないでください。
  手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
- 電源コードを巻きとる際は電源コードプラグと電源コードを持って巻き取ってください。
  電源コードが当たって、ケガの原因になります。



- 火の気のあるもののそばでは使用しないでください。（火の消えていないタバコ、ロウソクなど）
  火災の原因になります。
- ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から30cm以上離してご使用ください。
  また、換気口に糸くずやホコリが溜まらないようにしてください。
  火災の原因になります。
- スプレー製品などをご使用の部屋では、使用しないでください。
  スプレーへの引火によるヤケド・火災の原因になります。



- ミシンを使用しないときやミシンから離れたり使用を中断するときは電源コードプラグを抜いてください。
  絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になる恐れがあります。



- 電源コードは巻き付けないでください。
  コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
- 濡れた手で電源コードプラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因になります。
- 電源コードは赤い印以上、引き出さないでください。



- 幼児の手が届かない場所に保管してください。
  針や押えなどの突起でケガの原因になる恐れがあります。
- 糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを『 OFF 』にしてください。
  作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。



- ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。
- 交換した針を放置しないでください。
- お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。
- 針、押え、アタッチメントを交換するときは、電源コードプラグをコンセントから抜いてください。
  作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。
- 屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。
  部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。
- ミシン本体は必ず手持ちハンドルを持って持ち運びをしてください。
  他の部分を持つとこわれたり、滑って落としケガの原因になります。
- ミシン本体は7.3kgあります。ミシン本体を持ち運びする際は、急激・不用意な動作をしないでください。
  ケガの原因になります。
- 電源コードを引き抜くときは電源コードプラグを持って抜き差ししてください。
  コードの断線や接触不良による感電の原因になります。

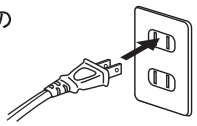
警告

死亡、火災、感電の恐れがあります。

火災・感電の原因となります。

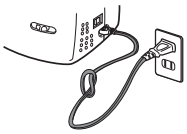
一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。

AC100V 50/60Hz



電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。

＊電源コードがミシンに収納出来なくなります。

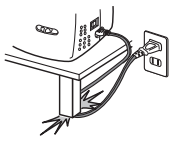


傷付いたり、溶けて線がむき出しになったコードを使わないでください。

＊コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正部品をお買い求めください。



電源コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。



延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。



火災・感電の原因となります。販売店・サービスセンターにご連絡ください。

ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源スイッチを『 OFF 』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。



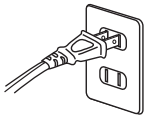
発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源スイッチを『 OFF 』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。



落としたり正常に作動しないときは電源コードプラグをコンセントから抜いてください。



電源コードプラグをコンセントにしっかり差し込んでください。



ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。

取り扱いのお願い

永くお使い頂くため、次のことを守ってください。

縫製以外や業務用、職業用の目的には、ご使用にならないでください。極度の部品摩耗や破損につながります。

注意

ケガやミシンの故障が発生する恐れがあります。

■曲がった針を使わない

曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。

・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをする恐れがあります。 ・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

■このミシンで縫えないもの

つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。

・木、プラスチック、金属などの板・ぬれた生地、粗い網(漁網など) ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい生地、厚さ6㎜以上の生地

■保管時の結露(つゆつき)について

寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露(つゆつき)が起こることがあります。結露がなくなるまで、電源コードプラグをコンセント(家庭用電源)に接続しないでください。そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

■直射日光・熱気をさける

直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

■糸絡みのとき、糸・生地を引っぱらない

針や部品を破損します。

■ミシン表面のお手入れ

プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。

＊ ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

■説明書で指定された以外の分解・改造はしない

ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。

■長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。
時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことが出来ます。

■ミシンの上に物を載せない/ミシンの上に乗らない

ミシンに負担がかかり故障の原因になるだけでなく、ミシンが倒れたりしてケガの原因にもつながります。

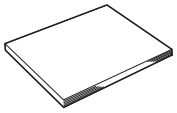
付属品

＊必ず専用の付属品をご使用ください。

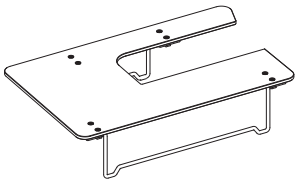
注意

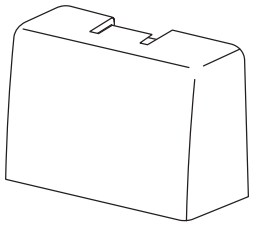
・付属品でお子様がケガをする恐れがあります。
保管には充分ご注意ください。

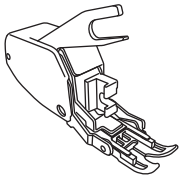
● ミシンと同梱されている付属品

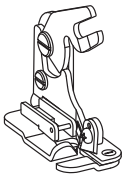

取扱説明書（本書）


ＤＶＤ


ワイドテーブル

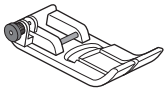

ミシンカバー

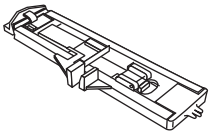

上送り押え

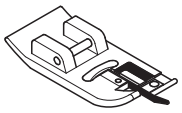

ロックカッター

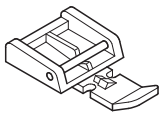

フットコントローラー

● 補助テーブル内の付属品

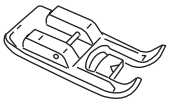

ジグザグ押え
（本体にセット）


ボタンホール押え

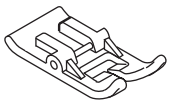

縁かがり押え

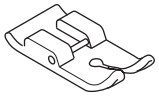

ファスナー付け押え

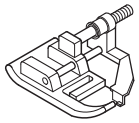

コンシール®ファスナー押え

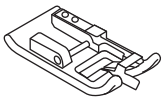

サテン押え
（透明）

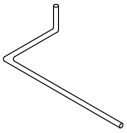

ギャザー押え


スムース押え

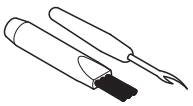

直線押え


まつり縫い押え

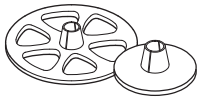

ガイド押え

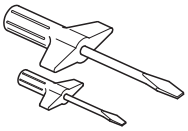

ステッチガイド

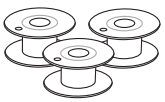

針板ドライバー


リッパー
（ブラシキャップ付）

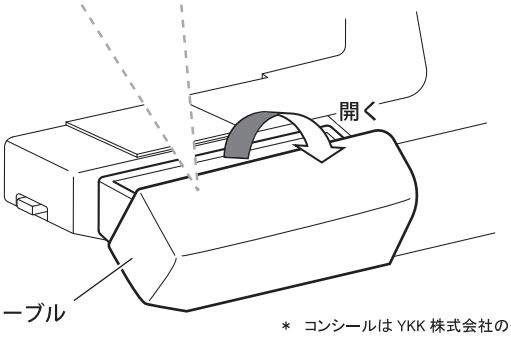

*14 番：1 本
11 番：1 本
9 番：1 本
家庭用ミシン針　3 本


糸こま押え
（大・小各 1 個）


ドライバー
（大・小各 1 本）


＊家庭用プラスチックボビン
（11.5×20.5mm）
ボビン　3 個

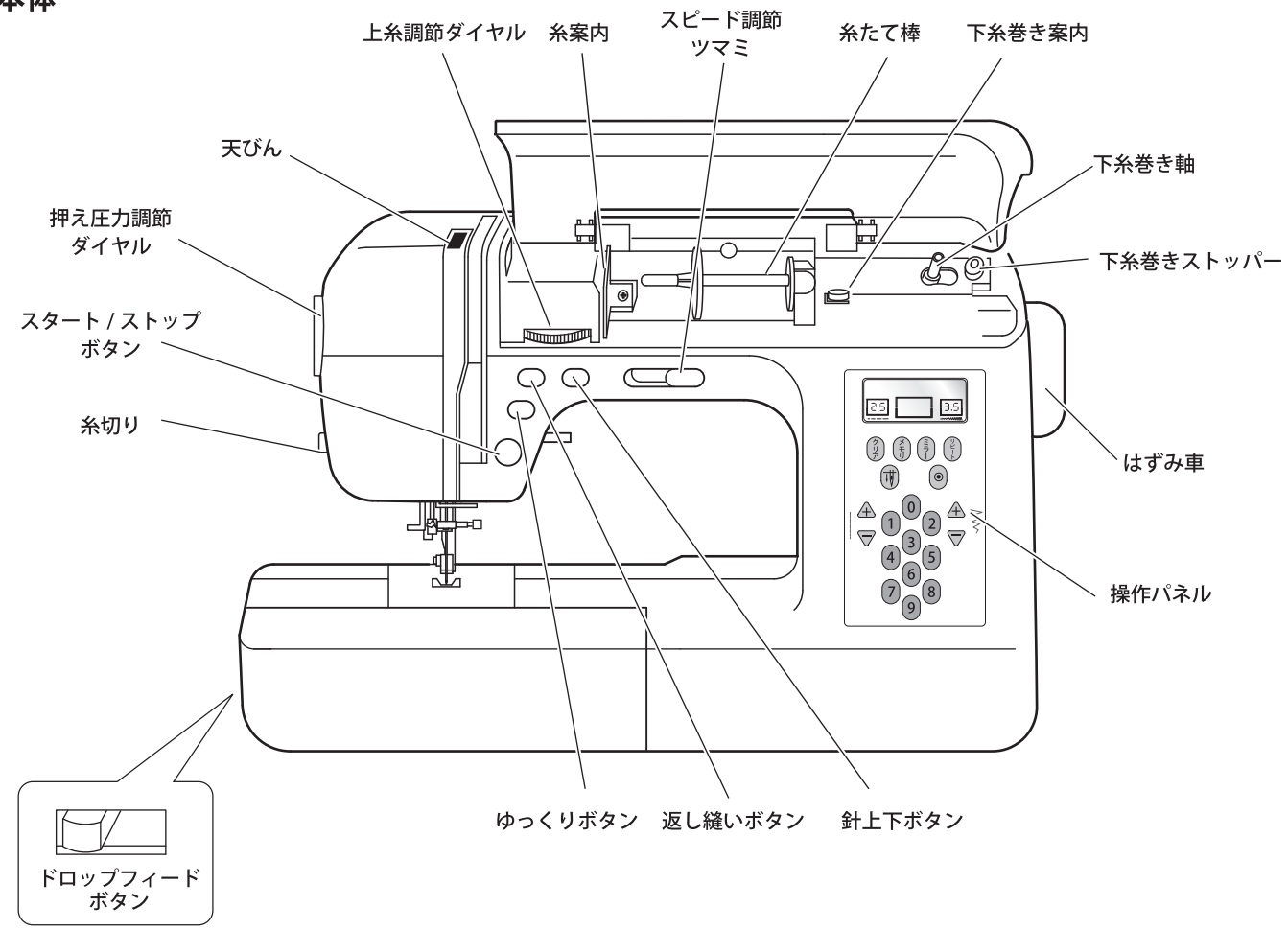
＊　補助テーブルの開閉方法はＰ6 をご参照ください。



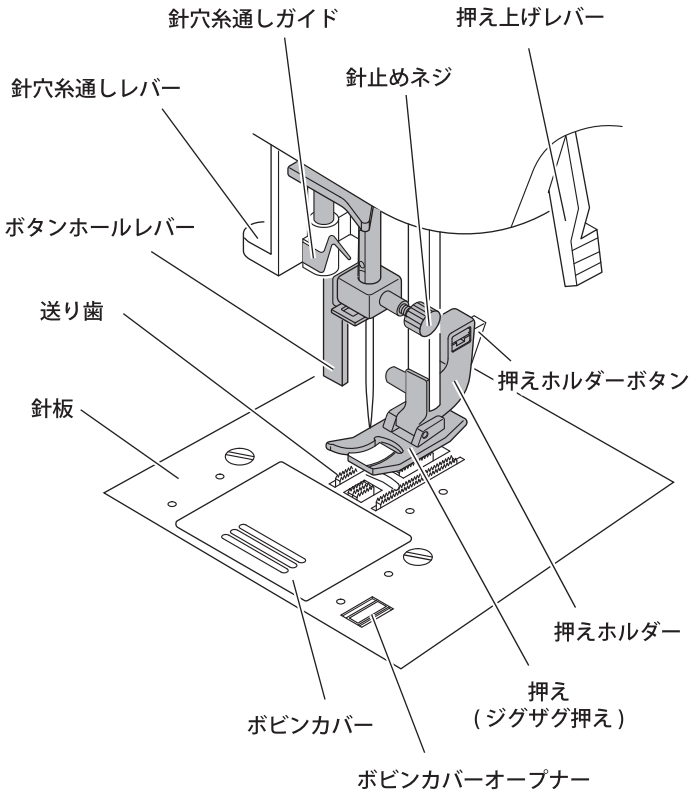
＊　コンシールは YKK 株式会社の登録商標です。

各部の名まえ

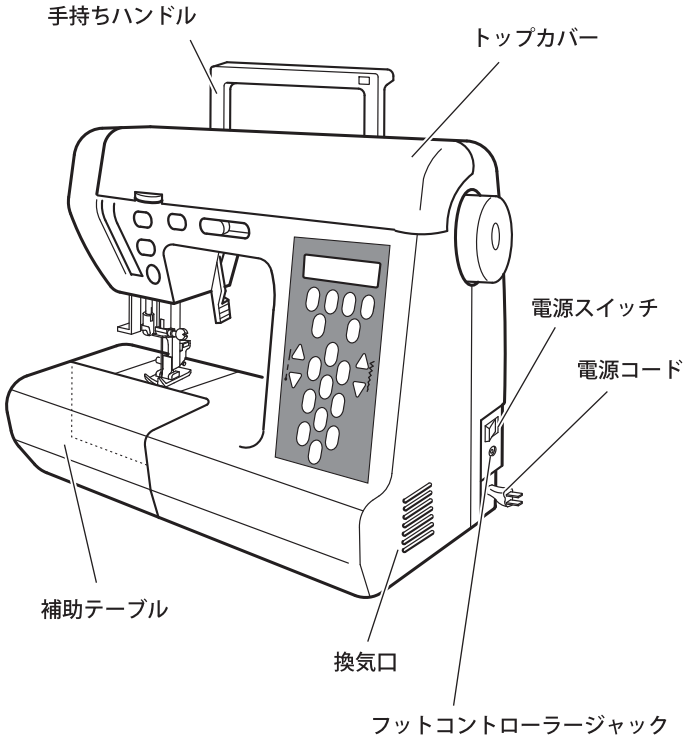
● 本体



● 針周辺

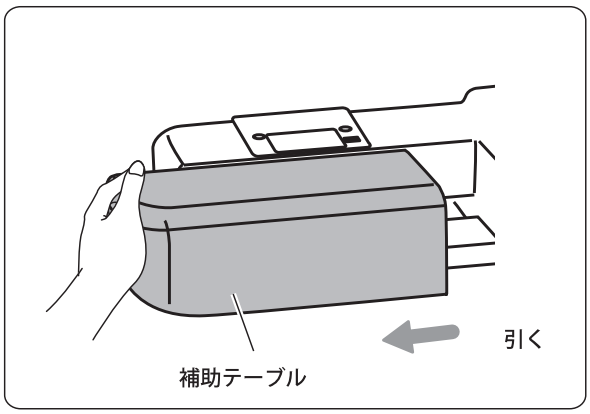


● その他



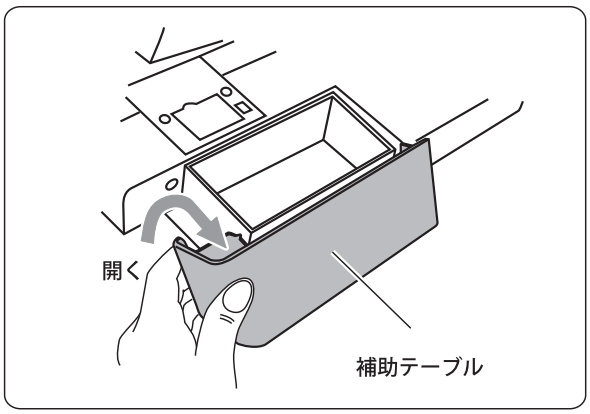
補助テーブル

● フリーアーム



ズボンの裾上げなど筒物を縫う際は、
『補助テーブル』を左に引いて外します。

● 付属品の出し入れ



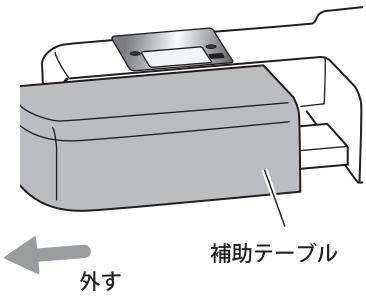
『補助テーブル』を手前に開くと
『付属品』の出し入れが出来ます。

ワイドテーブル

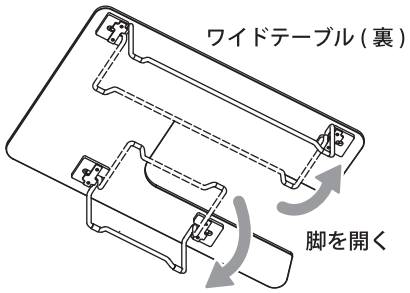
注意

・ワイドテーブルの天板に上から大きな力を加えない。
テーブルが壊れてケガをする恐れがあります。

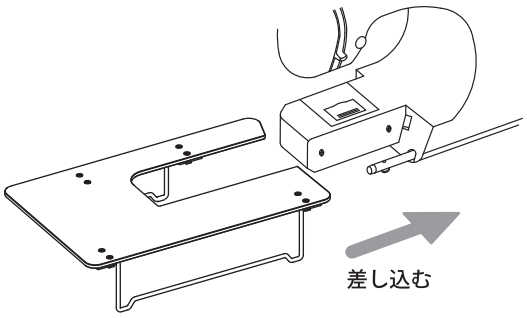
● 使いかた



1 『補助テーブル』を外し、
フリーアームにします。

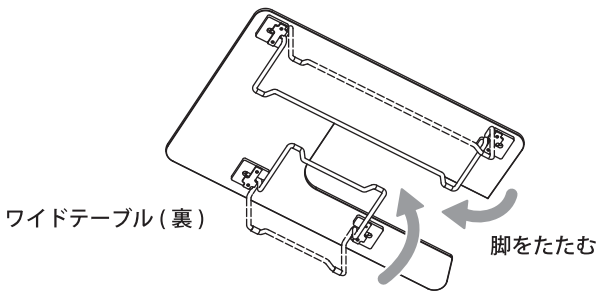


2 『ワイドテーブル』の脚を
起こします。

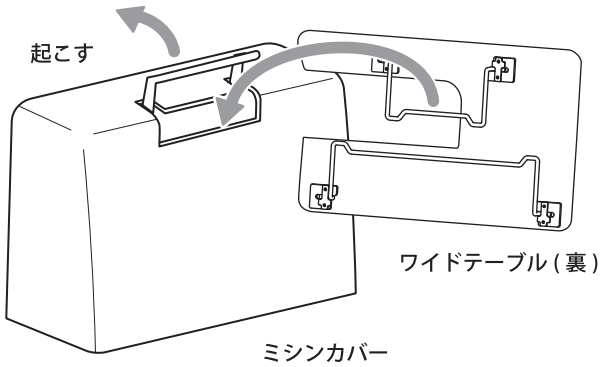


3 『補助テーブル』を外したところに
『ワイドテーブル』をセットします。

● 収納



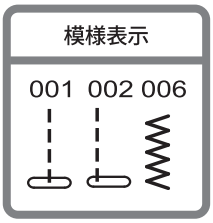
1 『ワイドテーブル』の脚をたたみます。



2 ミシンに『ミシンカバー』をかぶせ、
『手持ちハンドル』を起こします。

3 図のスキマに『ワイドテーブル』の脚 (短い方) を
差し込みます。

返し縫いボタン



『返し縫いボタン』を押している間は
返し縫いになります。
（返し縫いの速度は低速になります。）



『返し縫いボタン』を押していると、
その場で針が 2 ～ 3 針上下し
ミシンが停止します。
（止め縫いの速度は低速になります。）

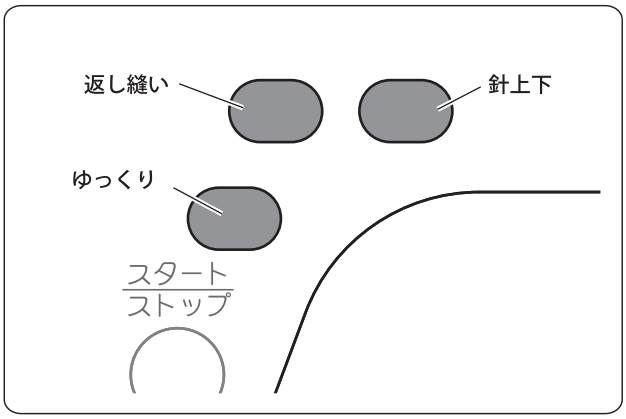
ゆっくりボタン

『ゆっくりボタン』を押している間は縫い速度が
【低速】になりボタンから手をはなすとミシンが
停止します。

針上下ボタン

針が上がっている状態で『針上下ボタン』を押すと
針が下がり、針が下がっている状態で『針上下ボタン』を
押すと針が上がります。

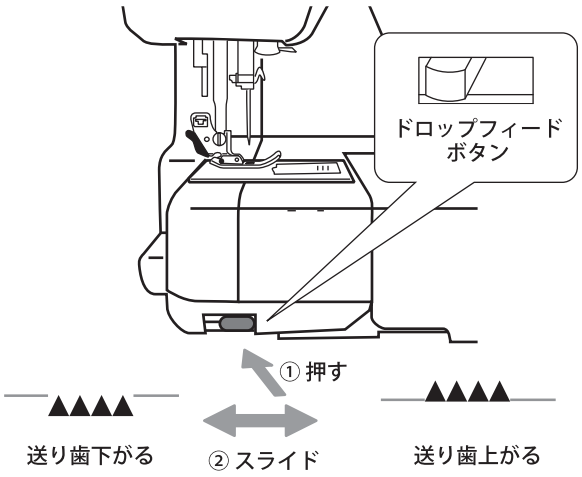
＊ 『押え』を下げた状態でご使用ください。
（『押え』が上がった状態では、針は上で停止します。）



ドロップフィード （送り歯高さ切り替え）

刺しゅうやキルトなど生地を手で動かして
縫う際に、送り歯を下げることが出来ます。

＜ミシン左横図＞



● 送り歯を下げる場合

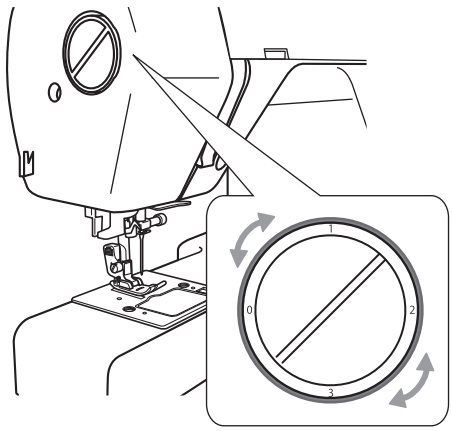
『ドロップフィードボタン』を押し込みながら、ミシン後方へ
『ドロップフィードボタン』をスライドさせます。

● 送り歯を上げる場合（通常縫い）

『ドロップフィードボタン』を押し込みながらミシン前方へ
スライドさせます。
＊『送り歯』が上がってこない際は、『はずみ車』を
手前に 1 回転すると『送り歯』が上がります。

押え圧力調節ダイヤル

生地の厚さやすべり具合によって、生地を押える押え金の圧力を
調節することが出来ます。



● 薄地、やわらかい生地の場合

『押え圧力調節ダイヤル』を小さい数字へ回します。

● 厚地、すべりの悪い生地の場合

『押え圧力調節ダイヤル』を大きい数字へ回します。

＊ 通常は【2】でご使用ください。

押え

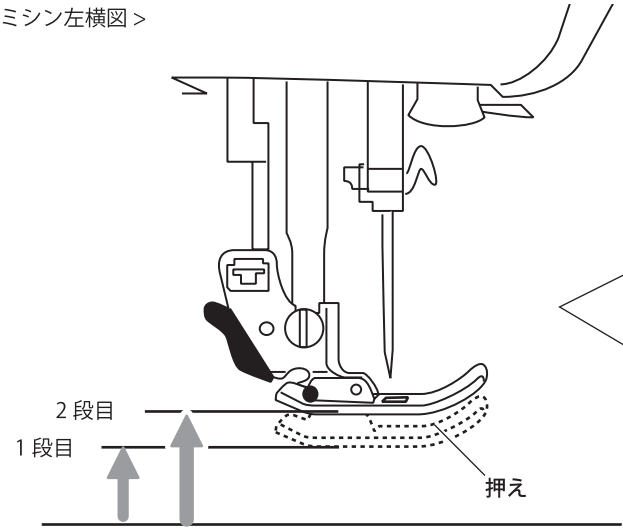
注意

・電源スイッチを『 OFF 』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

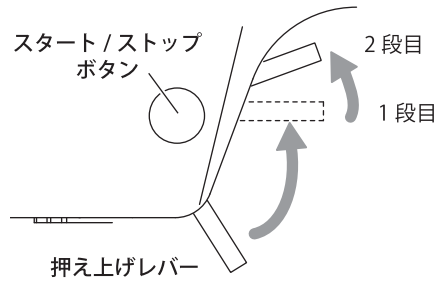
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

● 押えの上げ下げ

< ミシン左横図 >

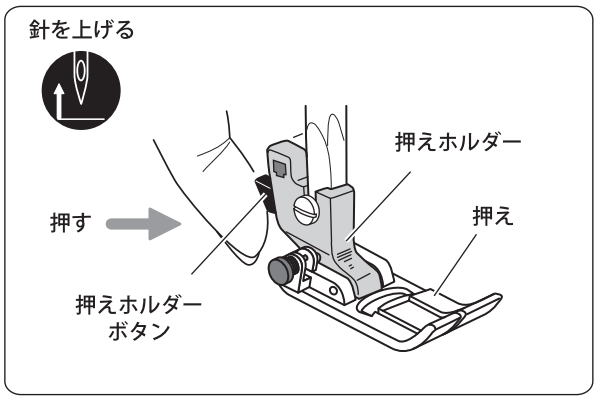


< ミシン正面図 >



『 押え上げレバー 』を上げると、『 押え 』が上がります。
更に『 押え上げレバー 』を上げると、『 押え 』がもう一段上がる 2 段階式になっています。
＊2 段目では固定が出来ません。
＊ 生地の厚みは 1 段目の高さを超えないようにしてください。
＊『 押え 』が上がっていると『 スタート / ストップボタン 』を押しても針は動きません。

● 押えの外しかた

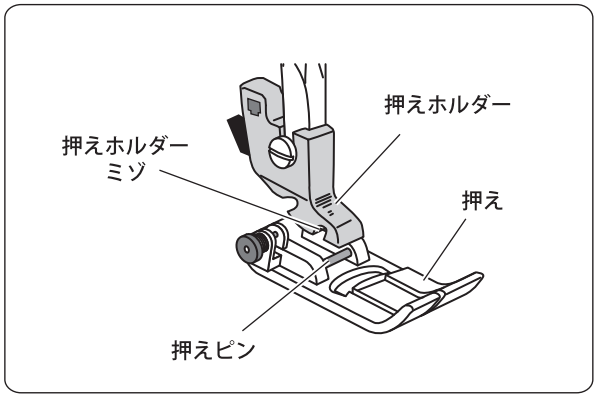


1 **『 はずみ車 』を回し、針を最上位にします。**

2 **『 押え上げレバー 』を上げます。**

3 **『 押えホルダーボタン 』を押すと、『 押え 』が外れます。**

● 押えの取り付けかた



1 **針と『 押え上げレバー 』を上げます。**

2 **『 押えピン 』を『 押えホルダーミゾ 』の真下に置きます。**

3 **『 押え上げレバー 』をゆっくり下げ、『 押えピン 』と『 押えホルダーミゾ 』を合わせます。**

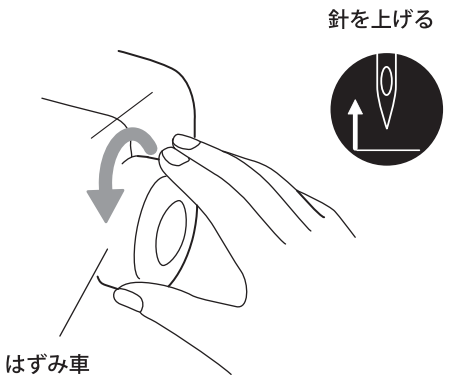
きちんと押えがセットされると
『カチッ』と音がします。
音がしない場合や押えがすぐに外れる際は
もう一度合わせ直してくださいね。



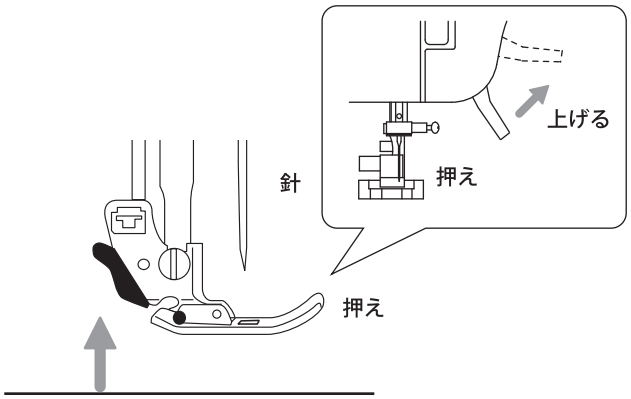
押えホルダーの外しかた・付けかた

注意

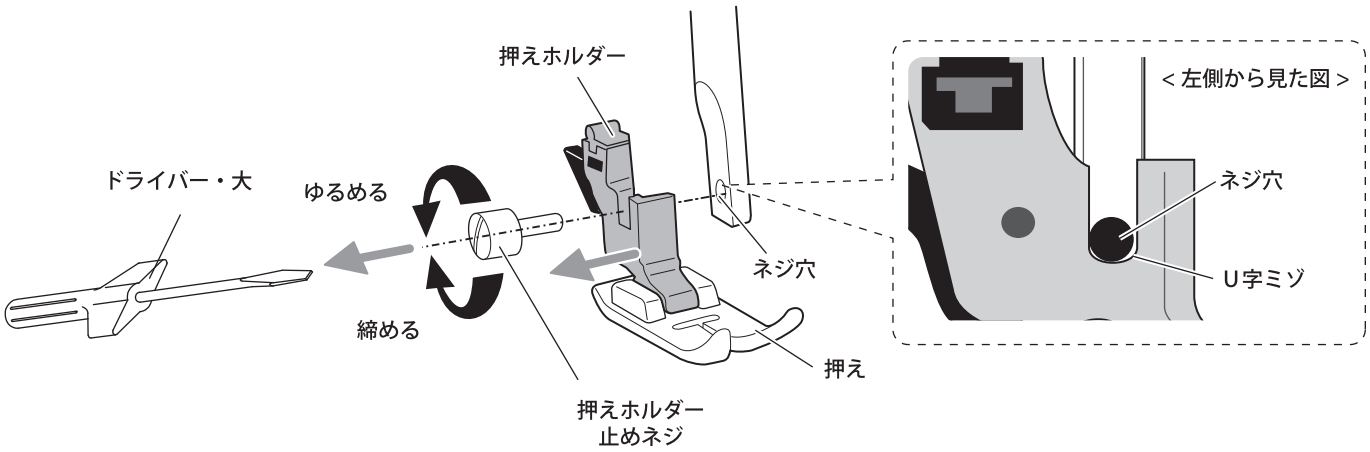
- **電源スイッチを『OFF』にする。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。



1 **『はずみ車』を手前に回し、針を最上位にします。**



2 **『押え上げレバー』を上げます。**



＊ **付属の『ドライバー・大』をご使用ください。**

3 **外す　:『押えホルダー止めネジ』を『ドライバー・大』でゆるめ外します。**

付ける:『押えホルダー』のU字ミゾと『ネジ穴』の位置を合わせます。

『押えホルダー止めネジ』を『ドライバー・大』で締めます。

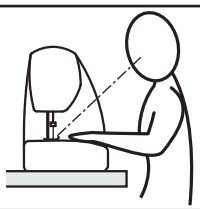
電源を入れる前に

縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。

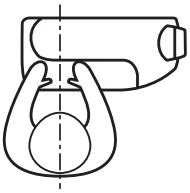
注意

・安定した場所に設置する。　・作業スペースを十分に確保する。
・周囲に物を置かない。
はずみ車や針など動く部分が露出しています。ケガの原因になります。

● ミシンをより快適に使うために



針先が無理なく見える位置に
ミシンを設置してください。



針の中心と身体の中心が
一致するようにミシンを
設置してください。

はずみ車を手で回してみる。
ミシンが正常に動くかを確認します。
針が曲がっていると、釜に針が当たったり針穴に針が刺さりません。

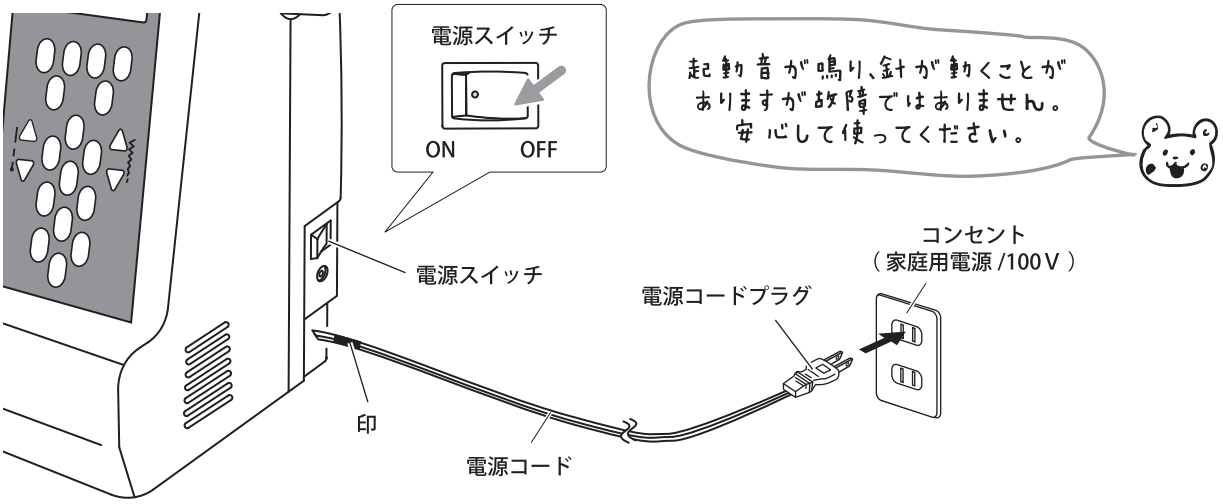
電源を入れる

注意

・電源スイッチを『OFF』にする。　・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。
突然動くとケガをする恐れがあります。

警告

・電源コードはプラグ部分を持って抜き差しする。
コードを引っ張ると、電源コード部分が破損し、死亡、火災、感電、機器故障の原因になります。



1 『電源スイッチ』を『OFF』にします。

2 『電源コード』を引き出し、コンセント（家庭用電源 /100V）に『電源コードプラグ』を差し込みます。

3 『電源スイッチ』を『ON』にします。（『液晶画面、ランプ、スタート / ストップボタン』が点灯します。）
＊起動音が鳴り、針が動くことがありますが故障ではありません。

4 『スタート / ストップボタン』が青く点灯している際に『スタート / ストップボタン』を押すとミシンが動き始めます。

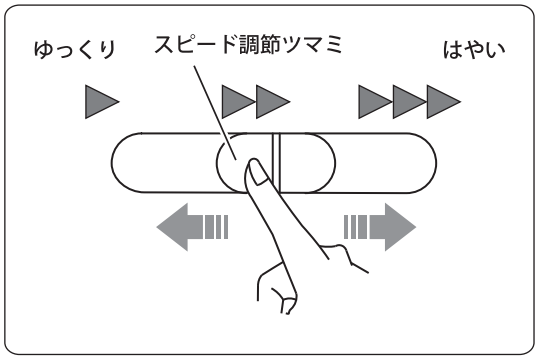
5 もう一度押すとミシンが止まります。（『スタート / ストップボタン』が赤く点灯している際は動きません。）

＊使用後の『電源コード』収納時は再度 3 ～ 5cm 引き出し、『電源コードプラグ』と『電源コード』を持って巻き取ってください。

＊コードリール部分は印が見えたら、それ以上は引き出さないでください。
『電源コード』部分が戻らなくなってしまいます。また、断線の原因にもつながります。

スピード調節

ミシンの運転速度を好みのスピードにセットします。



ゆっくり：『スピード調節ツマミ』を左方向へスライドさせます。

はやい：『スピード調節ツマミ』を右方向へスライドさせます。

フットコントローラー

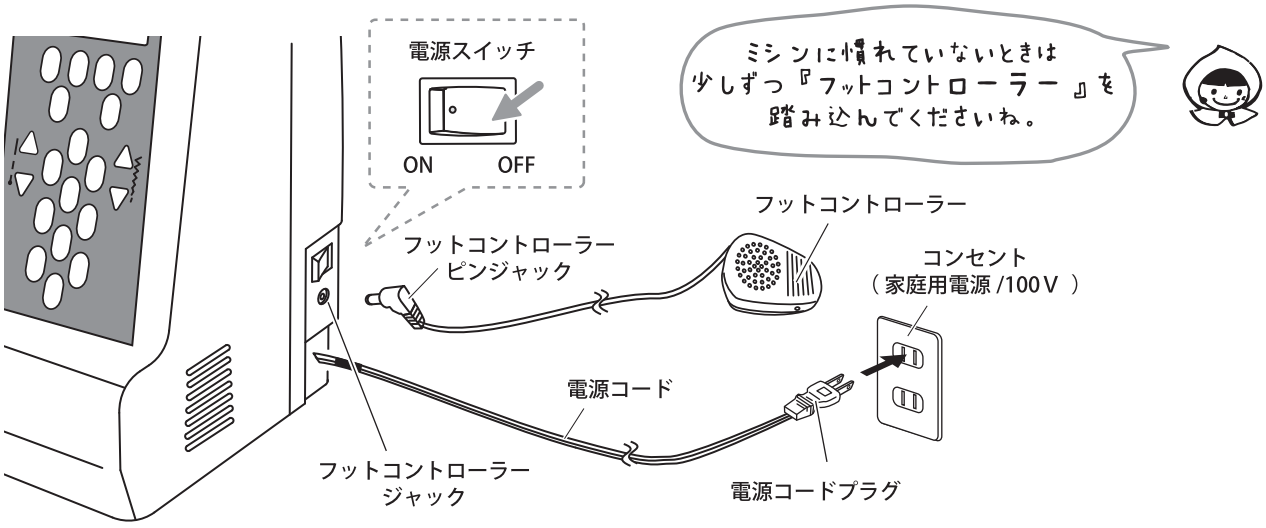
注意

・電源スイッチを『OFF』にする。　・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。
突然動くとケガをする恐れがあります。

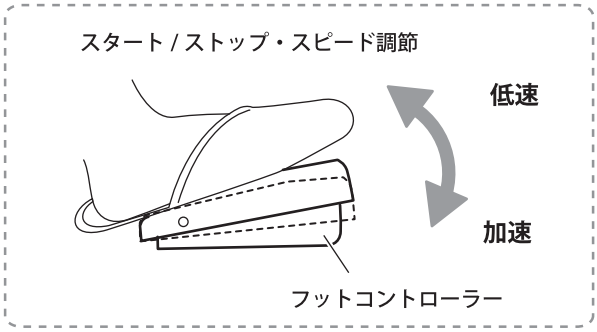
警告

・作業後はフットコントローラー
ピンジャックをミシンから抜く。

・フットコントローラーに
物を載せない。



1. 『電源スイッチ』を『OFF』にします。
2. 『フットコントローラー ピンジャック』をミシン本体の『フットコントローラージャック』に奥まで差し込みます。
3. 『電源コードプラグ』をコンセント（家庭用電源 /100V）に差し込み、『電源スイッチ』を『ON』にします。
4. 『スタート / ストップボタン』が青く点灯している際に『フットコントローラー』を少しずつ踏み込むと、ミシンが動き始めます。
5. 『フットコントローラー』から足をはなすと、ミシンが止まります。

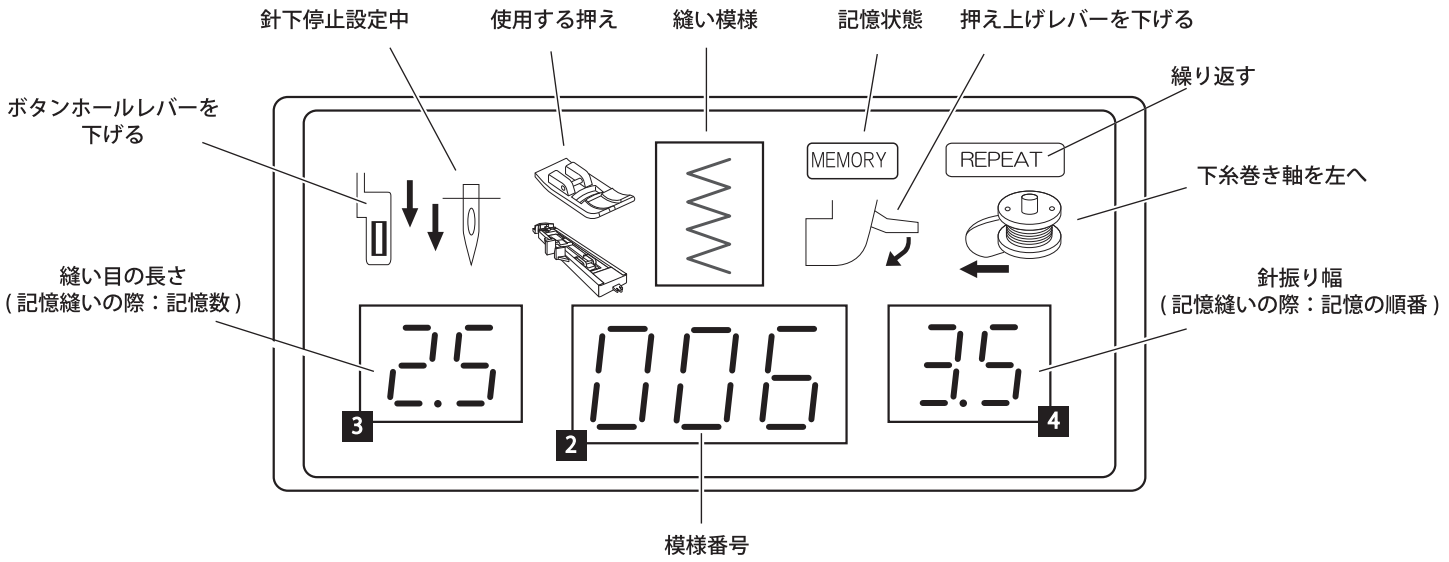


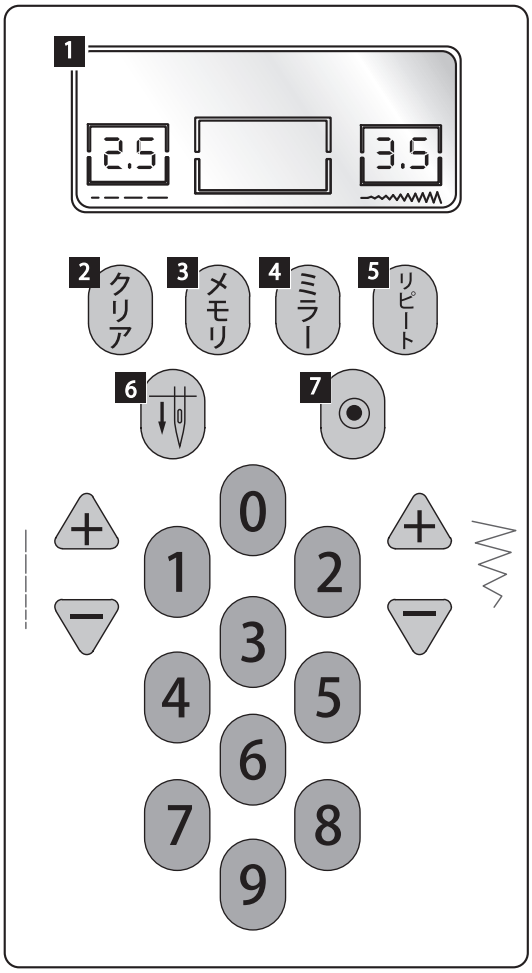
＊ 『スタート / ストップボタン』が赤く点灯している際に、ミシンは動きません。

＊ 『フットコントローラー』がミシンにつながっている際は、手元の『スタート・ストップボタン』は効きません。

＊ ミシン本体の『スピード調節ツマミ』で『フットコントローラー』をいっぱいまで踏み込んだ際のスピードを調整出来ます。

操作パネル





1 液晶画面

電源スイッチを『ON』にすると、液晶画面が点灯します。

2 クリアボタン

クリア

『メモリボタン』にて記憶した文字が 1 文字ずつ消えます。

3 メモリボタン

メモリ

『メモリボタン』を押すとボタンが点灯し、『MEMORY』と
液晶画面に表示され模様や文字を記憶出来る状態になります。
点灯している間は記憶した模様を繰り返し縫うことが出来ます。
もう一度押すと消灯し、記憶されていた模様や文字は一括消去
されます。

4 ミラーボタン

ミラー

縫い模様を左右逆向きに縫うことが出来ます。
（液晶画面は上下逆向きになります。）

5 リピートボタン

リピート

『リピートボタン』が点灯中は模様や文字を自動的に繰り返し縫えます。
＊ 記憶ボタンと併用して縫うことも出来ます。

6 針位置切替ボタン



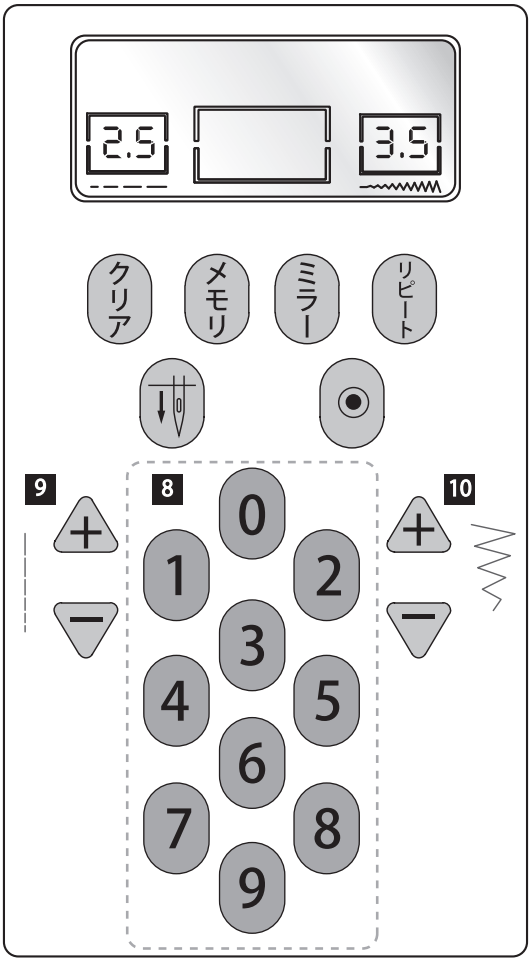
『針位置切替ボタン』が点灯中は針下停止になり、『針位置切替ボタン』が消灯中は針上停止になります。

7 止め縫いボタン



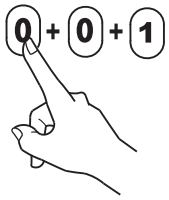
同じところで針が 4 回上下し、縫い始めと縫い終わりのほつれ止めになります。

操作パネル



8　模様番号ボタン

『トップカバー』に記載されている『模様番号』の数字を 3 ケタ入力してください。



9　縫い目長さボタン　（粗い⇔細かい）

＋ ボタン：縫い目の長さを粗く出来ます。

－ ボタン：縫い目の長さを細かく出来ます。

＊ 縫い模様によって異なります。

10　針振り幅ボタン（広い⇔狭い）

＋ ボタン：縫い目の幅を広く出来ます。

－ ボタン：縫い目の幅を狭く出来ます。

＊ 縫い模様によって異なります。

模様の選びかた

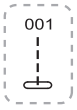
模様・文字は操作パネルを操作し、縫い模様を選択します。

1. 模様を縫う

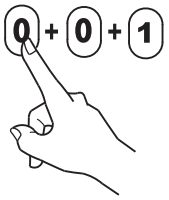
模様番号【001~006】【015~108】を選択した場合はミシンをスタートさせると同じ模様を繰り返し縫い続けます。

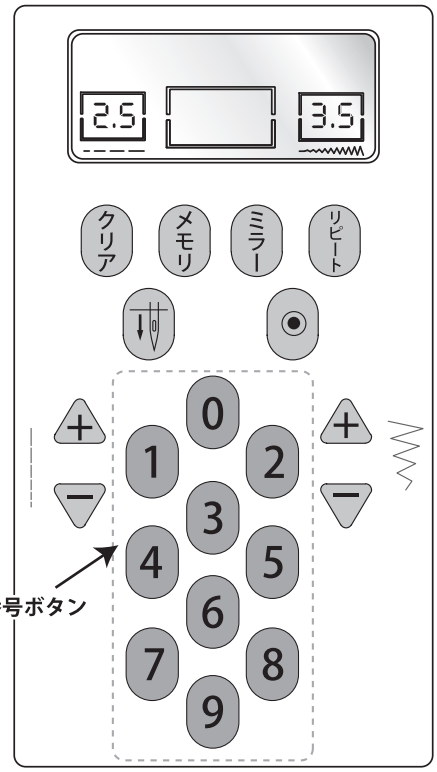
1-1：模様番号ボタンで模様を選択する

『模様番号ボタン』【0】～【9】のボタンで
縫いたい模様の番号 (3 ケタ) を選びます。
表示される模様は、『トップカバー』内の表示番号に相当します。

例えば 

を選びたい際は　【0】【0】【1】と『模様番号ボタン』を押します。



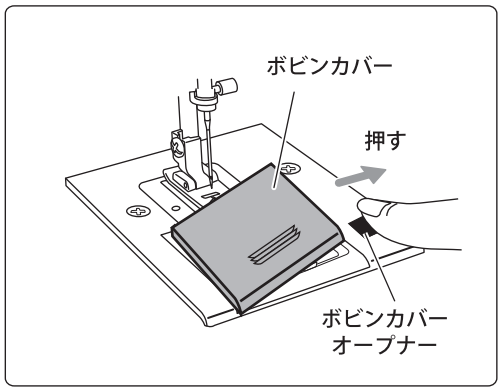


ボビンの取り出しかた

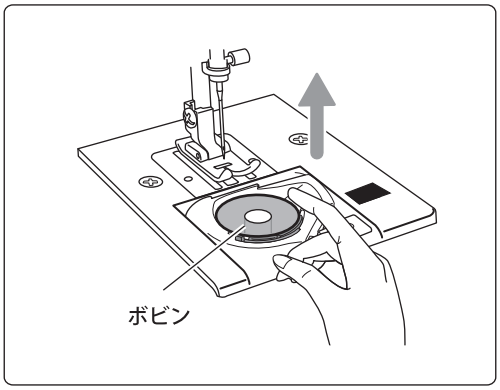
注意

・**電源スイッチを『OFF』にする。**
突然動くとケガをする恐れがあります。

・**針先に注意する。**
ケガをする恐れがあります。



1 **『ボビンカバーオープナー』を右へ押すと『ボビンカバー』が外れます。**



2 **『ボビン』を取り出します。**

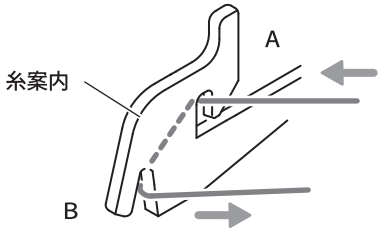
下糸の巻きかた

＊ボビンは家庭用プラスチックボビン(11.5×20.5mm)をご使用ください。
(異なるボビンをご使用されますとミシンの故障の原因につながります。)

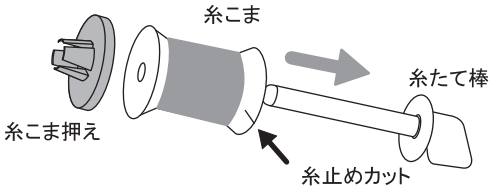
注意

・**電源スイッチを『OFF』にする。**
突然動くとケガをする恐れがあります。

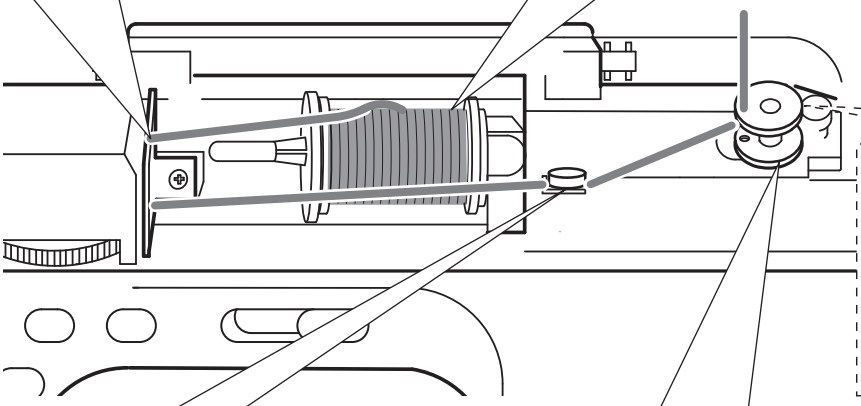
・**針先に注意する。**
ケガをする恐れがあります。



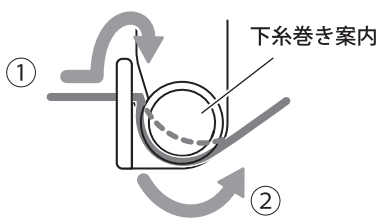
2 **『糸案内』に図A、Bの順に糸を掛けます。**



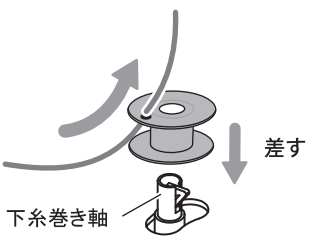
1 **『糸たて棒』を少し上へ傾け、『糸こま』の『糸止めカット』を『糸たて棒』の根元側に向け奥まで差し込みます。『糸こま』が飛び出してこないように『糸こま押え』でしっかり押えます。**
＊『糸こま押え』は、『糸こま』の大きさに合った方をご使用ください。

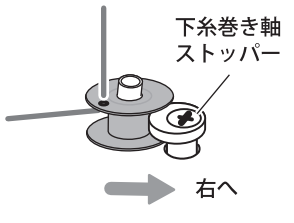




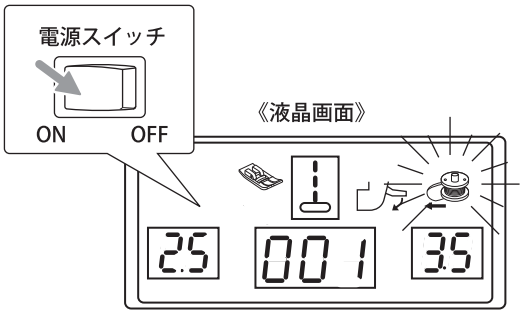


3 **『下糸巻き案内』の間にしっかり奥まで糸を掛けます。**

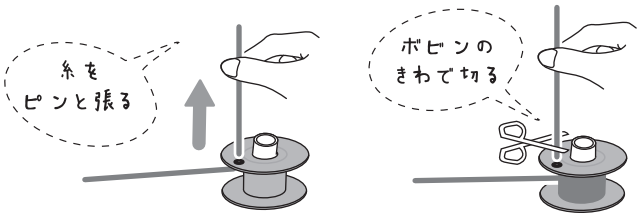




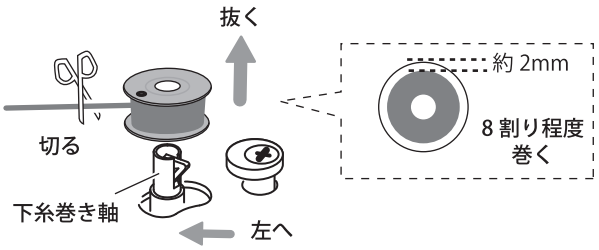
4 **『ボビン』の穴に内側から糸を通し、『下糸巻き軸』に『ボビン』を差し『下糸巻き軸』を右に移動させます。**



5 『電源コードプラグ』をコンセント（家庭用電源）に差し、『電源スイッチ』を『ON』にします。



6 糸先を持ち、『スタート / ストップボタン』を押し『ボビン』に 5.6 回転糸を巻き付けます。
ミシンを一度止め、持っていた糸を『ボビン』の穴のきわで糸を切ります。



7 再度ミシンを動かし、糸が巻き終わったら『スタート / ストップボタン』を押しミシンを止めます。
『下糸巻き軸』を左に戻し、『ボビン』を抜きます。

＊『下糸巻き軸』が右にあると、針が上下しません。

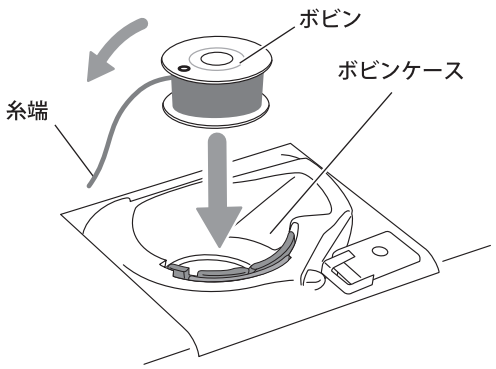
下糸のセット

＊ボビンは家庭用プラスチックボビン (11.5×20.5mm) をご使用ください。
(異なるボビンをご使用されますとミシンの故障の原因につながります。)

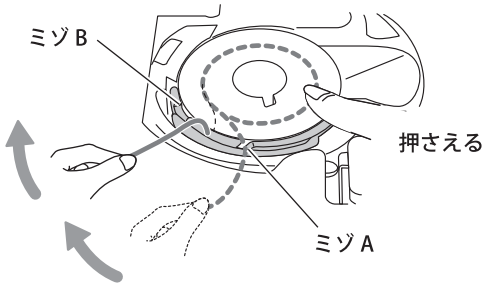
注意

・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

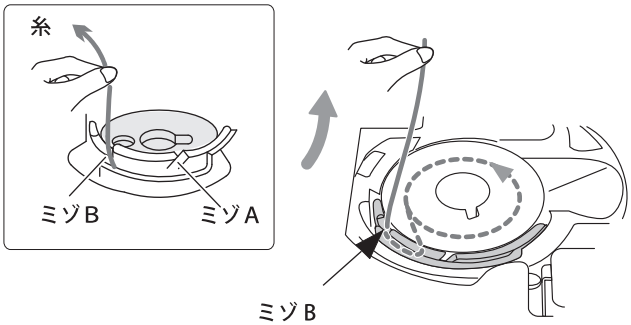


1 『ボビン』から 10cm ほど糸を引き出し、『ボビン』の左側から糸が出るように『ボビン』を『ボビンケース』に入れます。

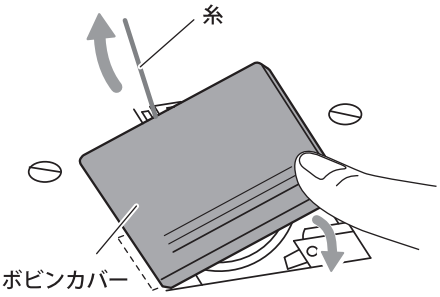


2 引き出した『ボビン』の糸を『ミゾ A』に掛け、『ミゾ B』まで左側へ引き出します。

＊『ボビンケース』に糸を掛ける際は、『ボビン』が回転しない様に指で『ボビン』を押さえてください。



3 糸を『ミゾ B』に掛け、糸先を向こう側に 10cm ほど引き出します。



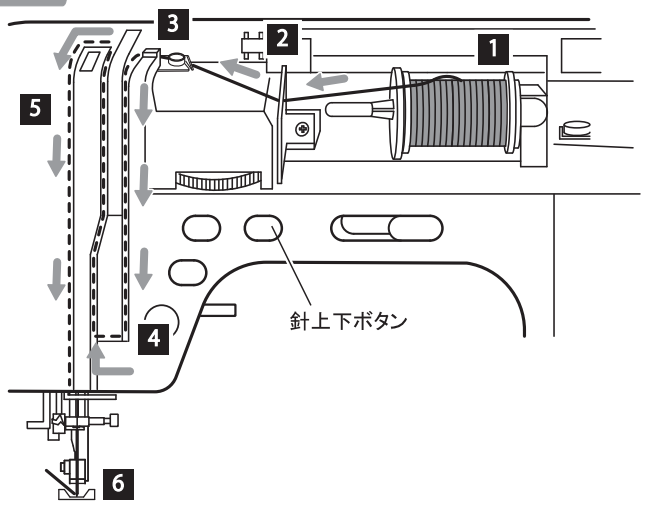
4 『ボビンカバー』の左部分を差し込み『ボビンケース』を閉じます。

上糸の掛けかた

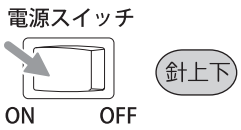
注意

・ **準備** **以外は、電源スイッチを『OFF』にする。**
突然動くとケガをする恐れがあります。

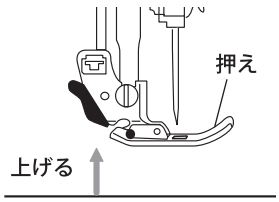
順序



準備

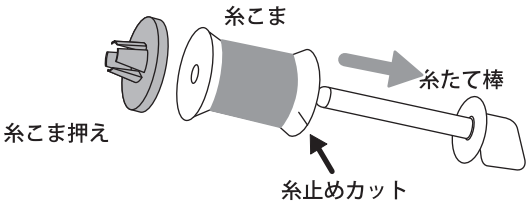


電源スイッチを『ON』にし、針上下ボタンで針を上げます。すぐに、電源スイッチを『OFF』にします。

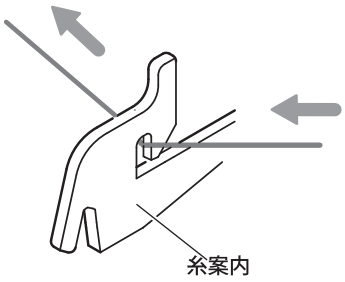


押えを上げます！！

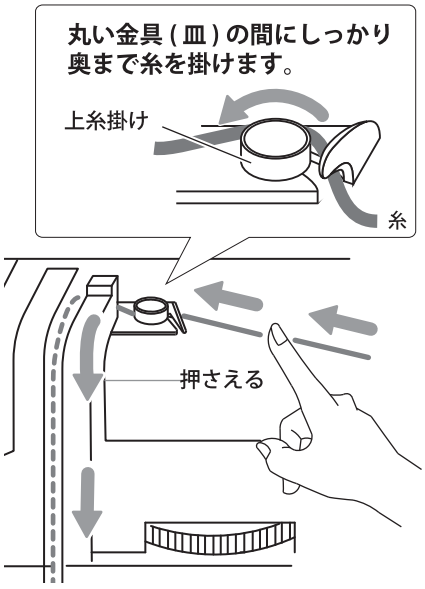
＊ 押えを下げた状態で上糸を通すと、糸の調子が取れません。



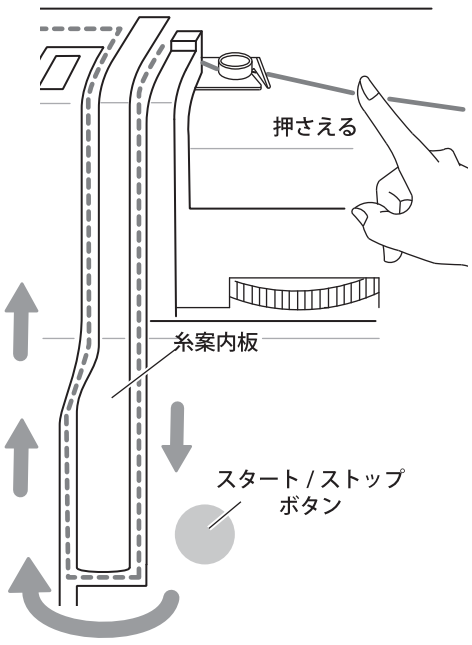
1 **『糸立て棒』に糸こま、『糸こま押え』をセットします。(P14 1 参照)**



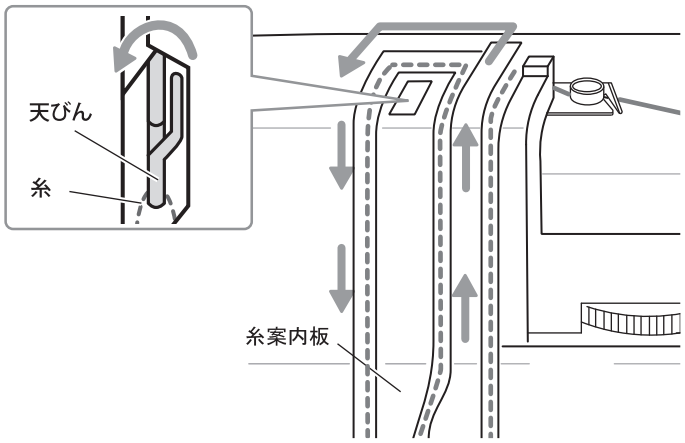
2 **『糸案内』に糸を掛けます。**



3 **糸を手で軽く押さえ、糸を張った状態で『上糸掛け』に掛けます。**

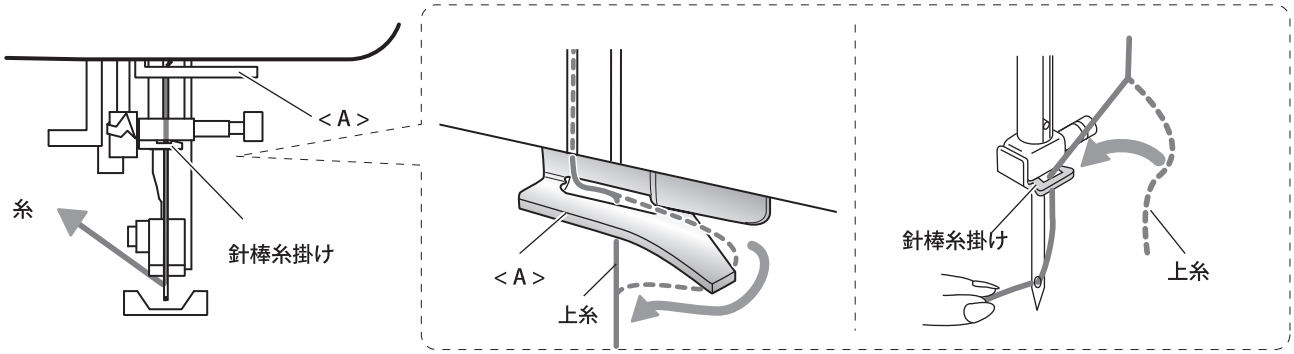


4 **糸を押さえたまま、『糸案内板』に沿って糸を下までおろし、左上へ引き上げます。**



5 『糸案内板』に沿って糸を下ろします。
そうすると、『天びん』に上糸が通ります。

＊ 『天びん』が必ず上にある状態で
糸掛けをしてください。



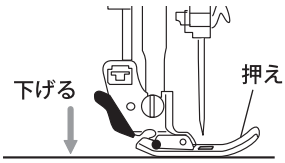
6 <A>と『針棒糸掛け』に糸を通します。

針穴糸通し器

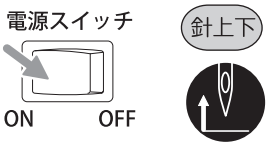
注意 ・ **準備** 以外は、電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

注意：針穴糸通し器が破損します。
・曲がった針は使用しない。・針の太さ＃11～＃16で使用する。
・糸の太さは＃40より細い糸を使用する。

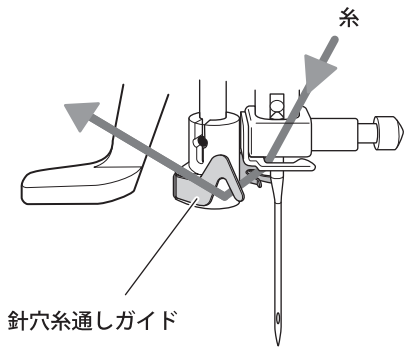
準備：針穴糸通し器が破損します。



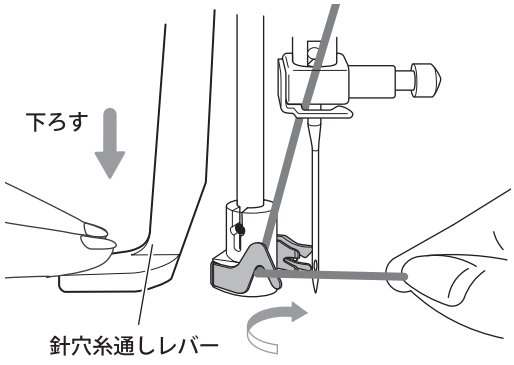
押えを下げます。



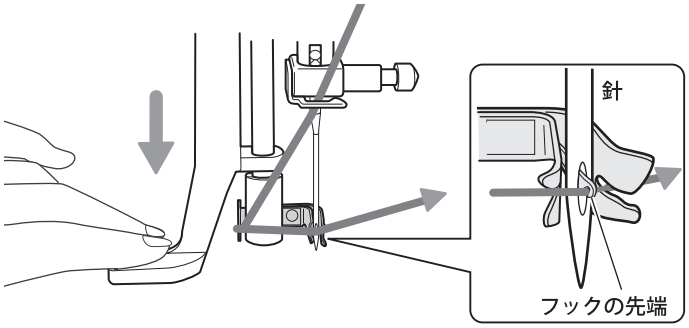
電源スイッチを『ON』にし、
針上下ボタンで針を上げます。
すぐに、電源スイッチを
『OFF』にします。



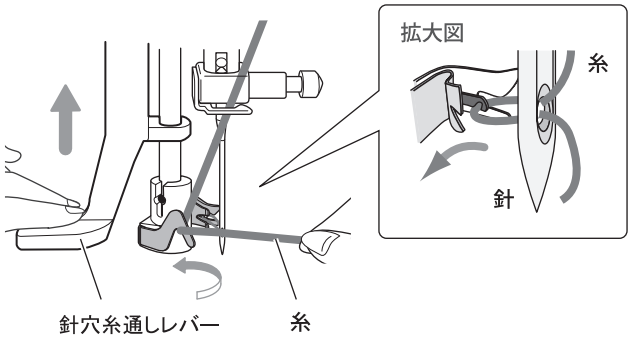
1 糸先を持ち『針穴糸通しガイド』に
右下側から糸を掛けます。



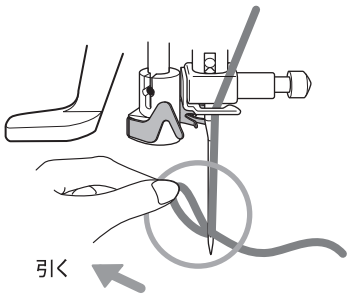
2 糸先を右手で持ったまま、左手で『針穴糸通し
レバー』をゆっくり一番下までおろします。
（『針穴糸通しレバー』が下がると、『糸通しフック』が
回転し『針穴へフック先端』が通ります。）



3 ガイドに掛けた糸をそのままミシン右奥へ引っ張ります。
(『フックの先端』に糸が掛かります。)
再度手前に糸を持って来ます。
(この際、少し上気味に糸を持ちます。)



4 糸先を軽く持ちながら、『針穴糸通しレバー』をゆっくりはなします。



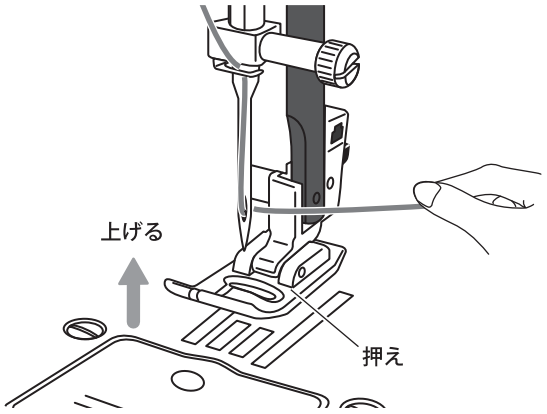
5 針の後方に糸の輪が出来るので針の後ろへ10cm ほど引き抜きます。
* 右手の糸を引っぱると輪がほどけます。

下糸の引き上げかた

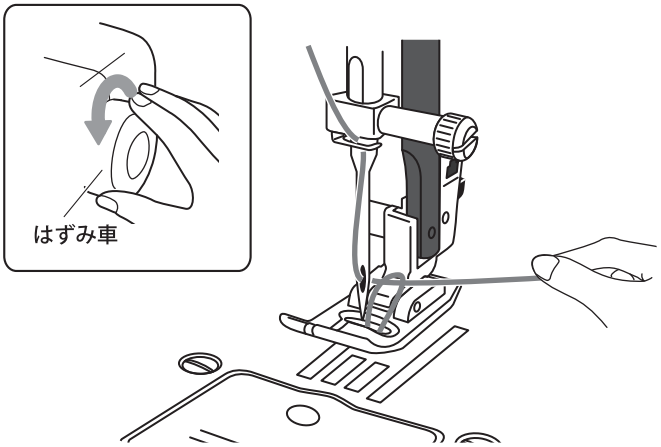
注意

・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

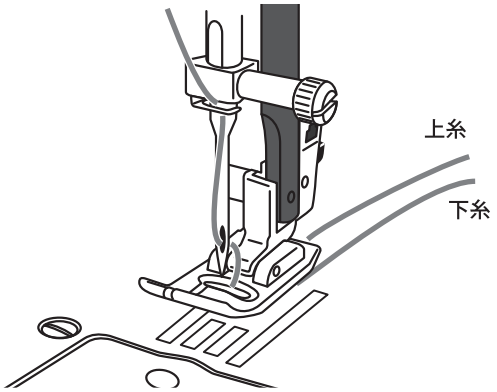
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



1 『押え』を上げ、上糸の端を持ちます。



2 『はずみ車』を手前に 1 回転させ針を上げると、下糸の輪が引き出されます。上糸の端を引き下糸の輪をつまみ、下糸を引き上げます。



3 上糸と下糸をそろえ、『押え』の下へ10cm ほど引き出します。

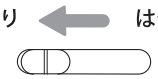
直線縫い

準備

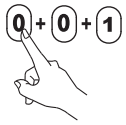
・下糸巻き軸を左側にします。
（軸が右にあると針が動きません）



・スピード調節ツマミを
【ゆっくり】にします。



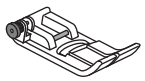
・電源を入れ、縫い模様を
選択します。

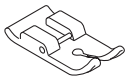


注意

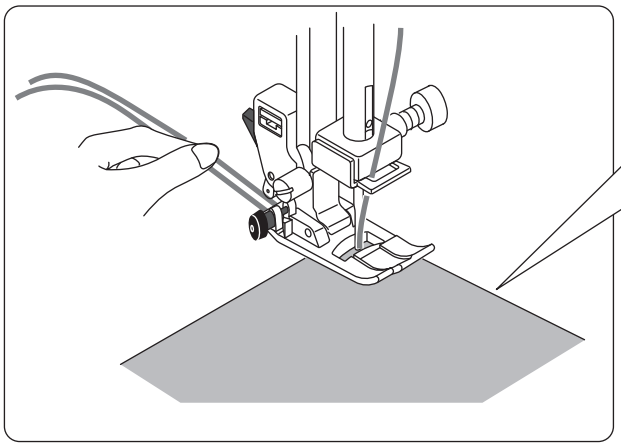
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

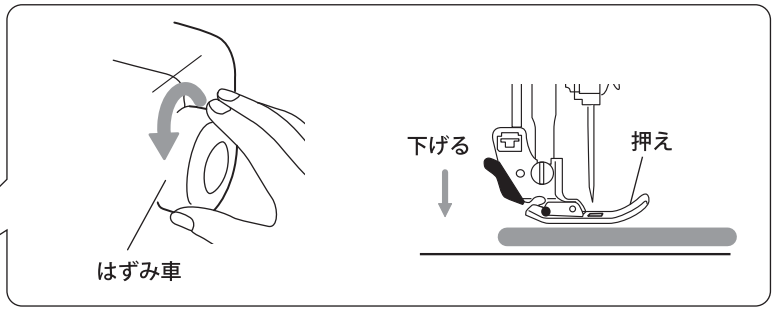
・模様選択の際は針を上げる。
針が折れケガをする恐れがあります。

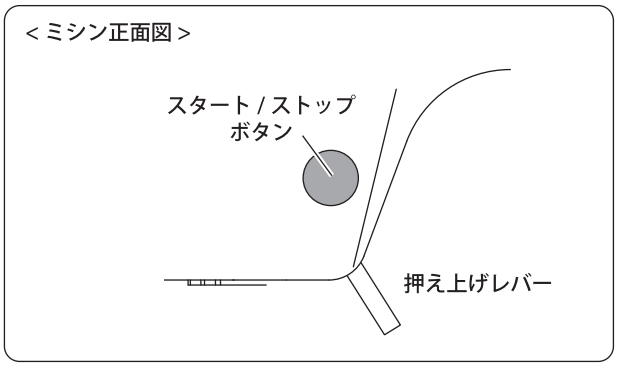
押え	模様表示
 ジグザグ押え	001 002 中基線 左基線

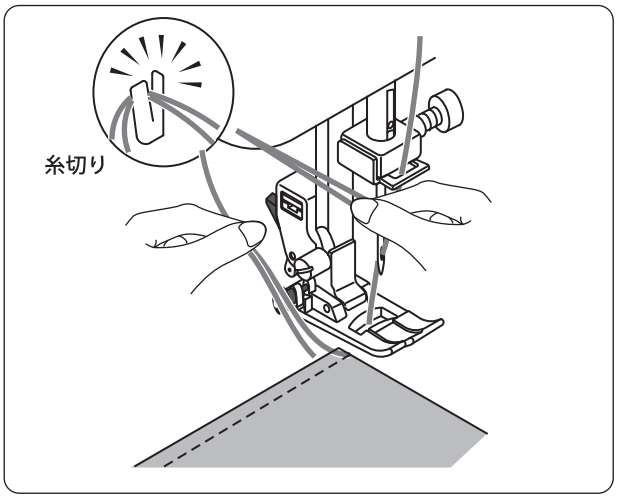
押え	模様表示
 直線押え	001 中基線

＊　直線押えは【001】以外では使用出来ません。









1 生地を『押え』の下に置き、『はずみ車』を
手前に回して縫い始める位置に針を刺します。

2 『押え』を下げます。

3 『スタート / ストップボタン』を押し、縫い始めます。

4 生地に手を軽くそえ、生地の進む方向を修正・補助します。

5 『スタート / ストップボタン』を押し、ミシンを止めます。

6 『押え上げレバー』を上げ、生地を引き出します。
その後、『糸切り』にて糸を切ります。

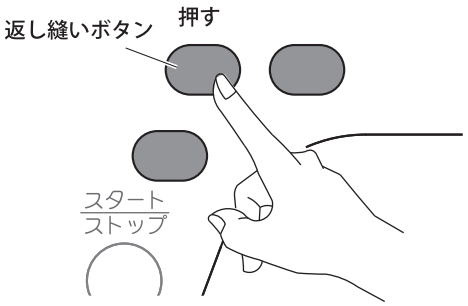
＊　縫い始めと縫い終わりに『返し縫いボタン』または
『止め縫いボタン』を押すと、ほつれ止めになります。
（P20 参照）

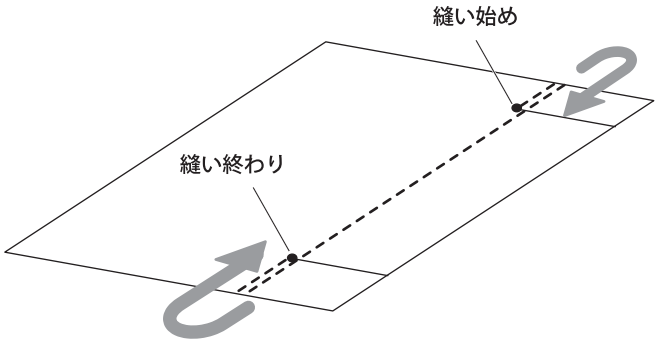
＊　薄地や送りの悪い生地を縫う際は、ハトロン紙などの紙を
生地の下に敷くとスムースに縫うことが出来ます。

返し縫い

注意

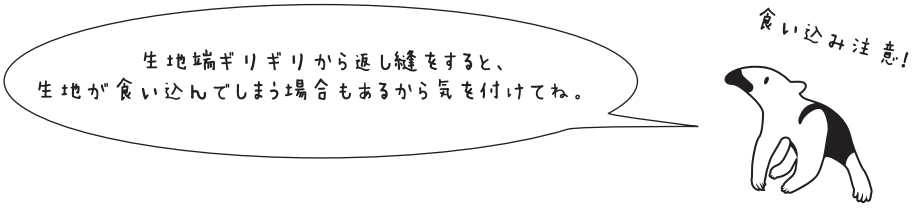
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。





ミシンが動いているときに、『返し縫いボタン』を押している間は返し縫いになり、
『返し縫いボタン』から手をはなすとミシンは止まります。

＊縫い始めと縫い終わりに返し縫いを行うとほつれ止めになります。



針、糸、生地の関係

きれいに縫うためには、生地に合った針と糸をご使用ください。（下記参照）
上糸と下糸は同じ種類・同じ太さの糸をご使用ください。
針は家庭用ミシン針（HA×1）、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。
（工場出荷時、ミシンには 11 番の針が設置されています。）
＊　下記の表はあくまで参考ですので、必ず試し縫いを行い縫い目をご確認ください。

	生地の種類	針の種類・番号	糸の種類・番号
薄地	一般裏地、ローン、ジョーゼット、 レース、キュプラ など	9、11 番	綿　60 ～ 100 絹　50 ～ 90 化繊糸　60 ～ 90
普通地	一般服地、ブロード、ソフトデニム、 サテン、パイル、ギンガム など	11、14 番	綿　60 ～ 90 絹　50 ～ 90 化繊糸　60 ～ 90
厚地	キルティング、フリース、 ツイード、デニム、フェルト など	14、16 番	綿　40 ～ 50 絹　50 化繊糸　50 ～ 60
伸縮地	ニット、トリコット、スパンテックス、 ジャージ など	ニット用針 11、14 番	綿　60 化繊糸　50 ～ 90 ニット用糸 50 ～ 90

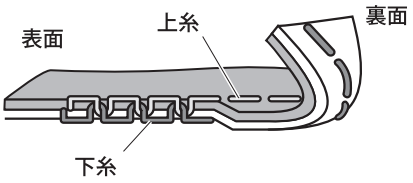
＊　針は数字が大きくなるほど太くなります。　＊　糸は数字が大きくなるほど細くなります。

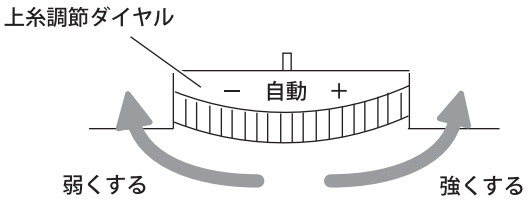
（針の交換方法は P42 をご参照ください。）

糸調子の合わせかた

糸調子が合わない場合は、上糸調節ダイヤルを回し調節してください。

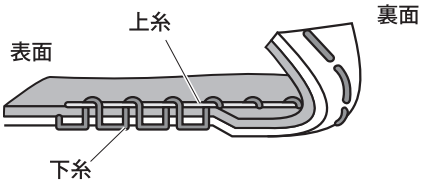
● 正しい糸調子

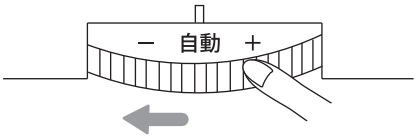




上糸と下糸が生地のほぼ中央で交わります。

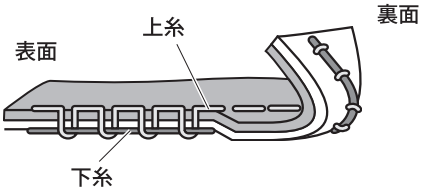
● 上糸が強いとき

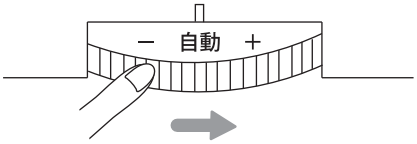




下糸が生地の表に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を『－』の方向へ回します。

● 上糸が弱いとき

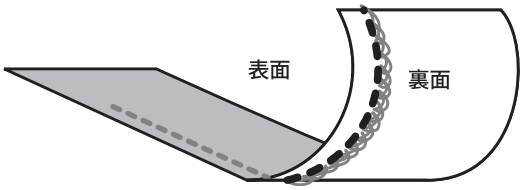




上糸が生地の裏に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を『＋』の方向へ回します。

● 生地の裏側の糸がタオル地のようになる際は…

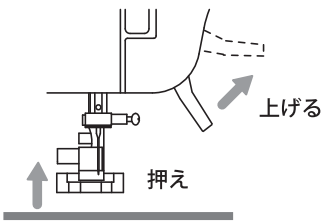
- 上糸調子が弱い。
- 『押え上げレバー』が上がっている。
- 『天びん』から上糸が外れている。
- 上糸の掛けかたが間違っている。
- 糸が太すぎる。（太さ #40 までの仕様です。）
- 針に不具合が生じてる。

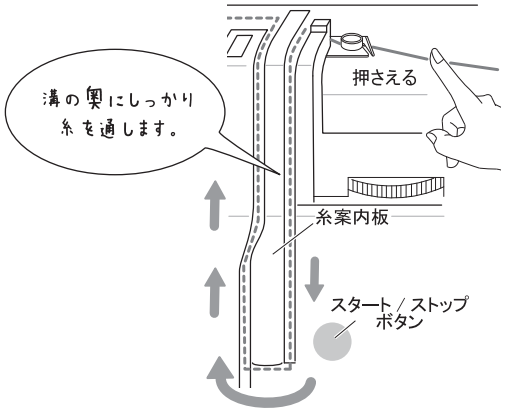


ポイント！

『押え』を上げミシンから上糸を全て外し、上糸を再度正しく掛け直してください。（P16 ～ P17 参照）

『押え』を上げる。







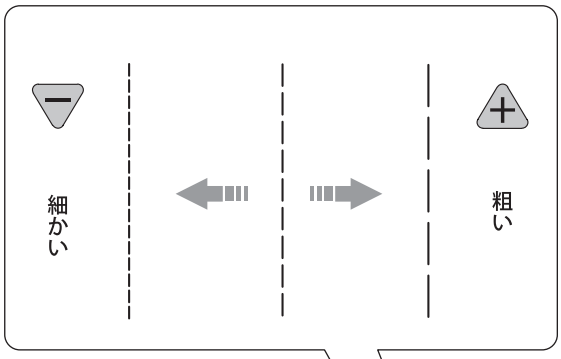
縫い目の長さを変える

縫い目長さボタン　（細かい⇔粗い）

＋ ボタン：縫い目の長さを粗く出来ます。

－ ボタン：縫い目の長さを細かく出来ます。

＊ 縫い模様によって異なります。



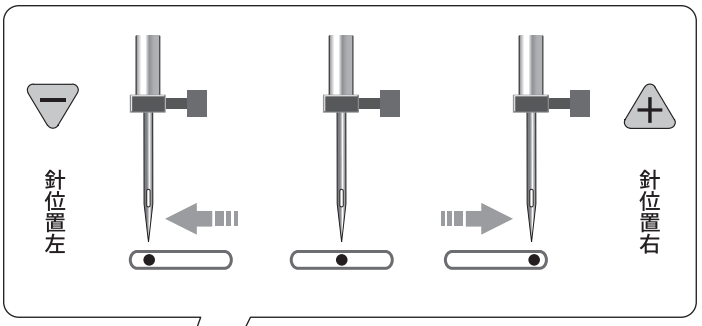
針位置を変える

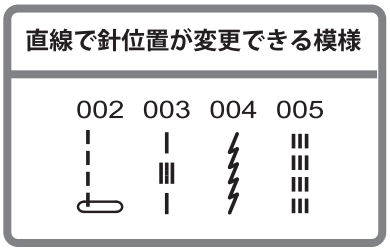
針振り幅ボタン

＋ ボタン：数値が大きくなり、針位置が右に移動します。

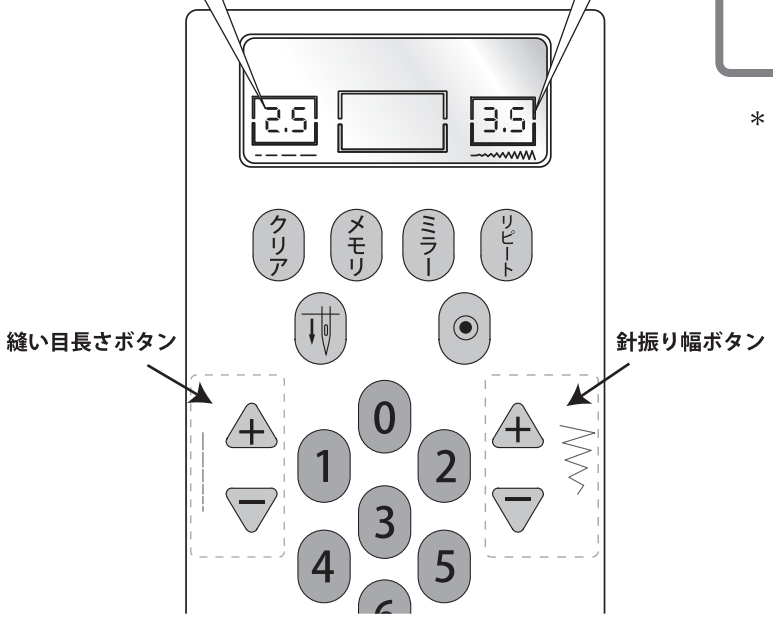
－ ボタン：数値が小さくなり、針位置が左に移動します。

＊ 縫い模様によって異なります。

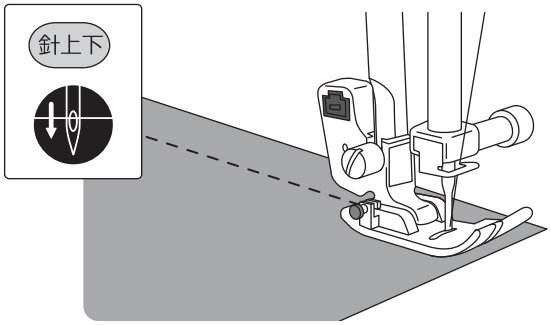




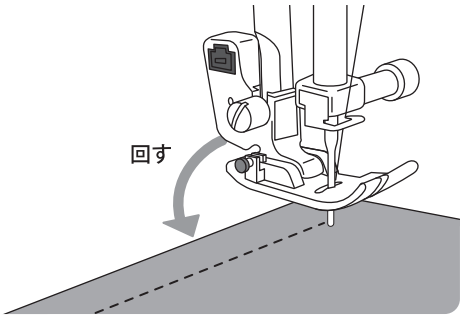
＊　直線押えは使用出来ません。



縫い方向を変える



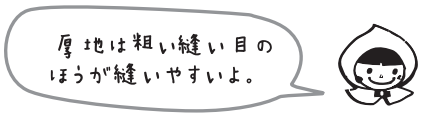
1 生地の角まで縫い、ミシンを停止し
『針上下ボタン』で針を下げます。

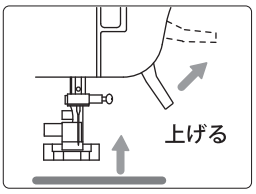


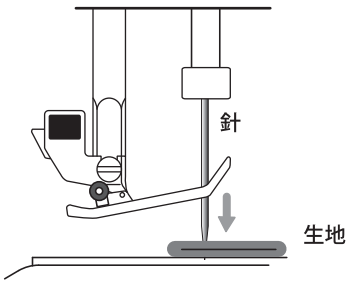
2 『押え』を上げ、針を軸にして生地を回させ
縫い方向を変えます。
再び、『押え』を下げ縫い始めます。

厚地を縫う

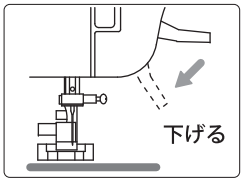
縫い始めや段差を縫う際

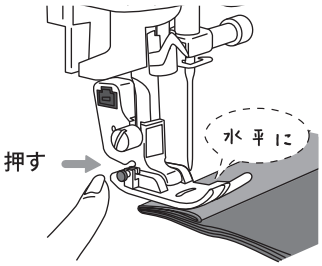






1 『押え上げレバー』を上げます。
『押え』の下に生地を置き、針を一番下まで下げます。

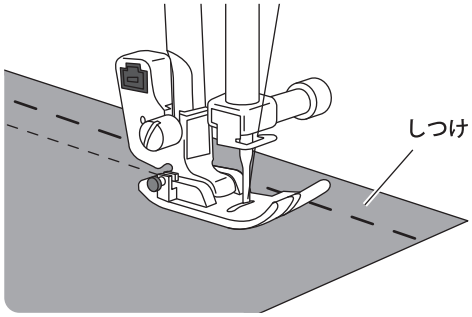




2 『押え』の先端を指でつまみ『押え』を水平にします。
水平を保ったまま、『押え』の左横にある
『ボタン』を押しながら『押え上げレバー』を
下ろします。

＊厚地を縫う際は、市販の家庭用ミシン針：#16 をご使用されることをおすすめします。

伸縮生地を縫う



押え	模様表示		
	004	005	017
ジグザグ押え			

1 『模様選択ボタン』で模様を選択します。

2 あらかじめ縫い合わせる生地がずれないように
しつけをし、生地を引っ張らないように縫います。

＊ 縫い目が飛ぶ際は、市販の家庭用ニット用針とニット用糸をご使用ください。

伸縮生地を縫う：スムース押え

すべりにくい生地などに効果的な押え金です。
(押え交換方法 P8 参照)

注意

・押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



例えば…
ビニールコーティング、ニット、
トリコット、ウール　など

× 使用不可	ボタンホール
	

＊ スムース押えはボタンホール縫い以外の
縫い目でご使用ください。

伸縮生地を縫う：上送り押え

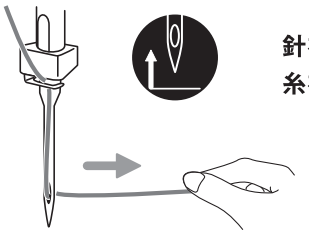
ビニールレザー、ニット、薄地、すべりやすい生地、
長い縫い合わせの際に起こる縫いズレなどに使用すると便利です。

注意

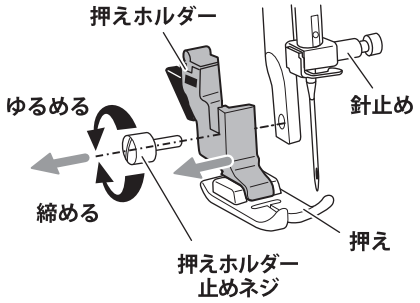
・押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

準備

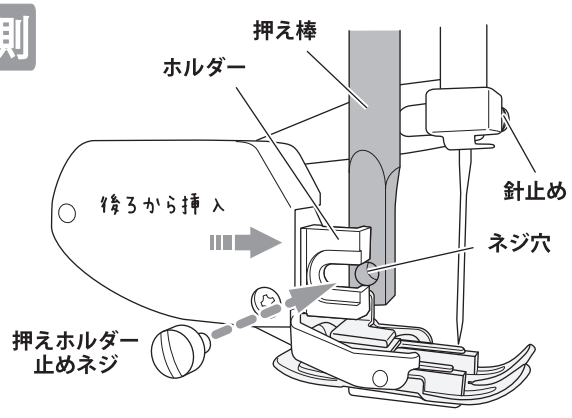


針を最上位にし、
糸を針穴へ通します。

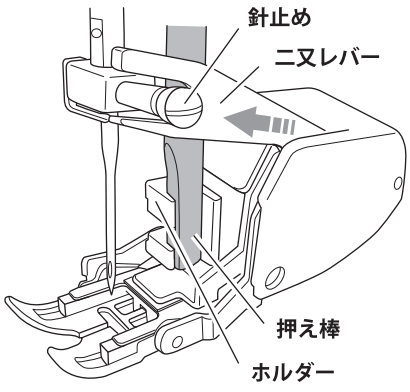


押え上げレバーを上げ、
押えホルダー止めネジ、
押えホルダーと押えを
外します。
(P9 参照)

左側



右側



1 上図のように、『押え棒』の左側から『上送り押え』の『二又レバー』を『針止め』に
差し込みながら『ホルダー』を『押え棒』に合わせます。

2 『ホルダー部のミゾ』から『ネジ穴』が見えるところで、『押えホルダー止めネジ』を『ドライバー・大』で締めます。

3 『はずみ車』を回しスムーズに動くのを確認します。

＊　取り付けが終わったら、縫い始められます。

＊　『上送り押え』の箱に入っている使用説明用紙も合わせてご参照ください。

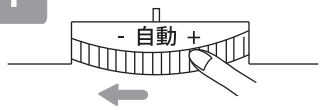
縁かがり縫い

生地端のほつれを防止します。

注意

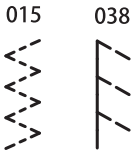
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。
- **模様選択の際は針を上げる。** 針が折れケガをする恐れがあります。
- **縁かがり押えを使用するときは、縫い目の幅を『 4.5 』以上にする。**
  （部品の破損にもつながります。）
- **押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。**

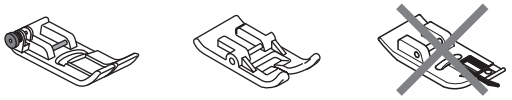
ポイント



直線縫いよりも上糸調整ダイヤルを
やや弱めにするときれいに縫えます。

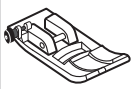
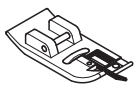
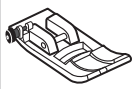
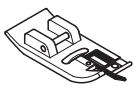
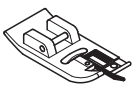
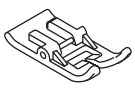
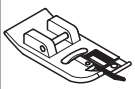
注意





これらの模様は縁かがり押えは使用出来ません。
ジグザグ押えまたはスムース押えをご使用ください。

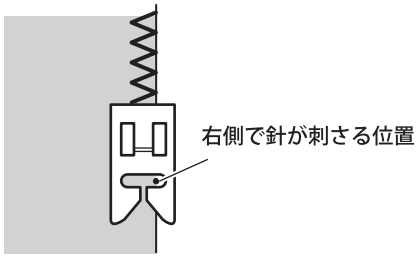
生地の厚さと各種の設定

	薄地		普通地		厚地		伸縮地	
模様	015 	041 	006 	018 	039 	018 	019 	039 	038 	041 
縫い目長さ	0.6 ～ 2.0	2.2 ～ 3.0	2.5 ～ 3.0		2.5 ～ 3.0		2.5 ～ 3.5	2.2 ～ 3.0
針振り幅	3.0 ～ 5.0	4.5 ～ 5.0	3.0 ～ 5.0	4.5 ～ 7.0	4.5 ～ 7.0		3.5 ～ 7.0	4.5 ～ 5.0
押え	 ジグザグ押え	 縁かがり押え	 ジグザグ押え	 縁かがり押え	 ジグザグ押え	 縁かがり押え	 スムース押え	 縁かがり押え
押え圧力	1 ～ 2	1 ～ 2	2 ～ 3	2 ～ 3	2 ～ 3	2 ～ 3	1 ～ 2	1 ～ 2

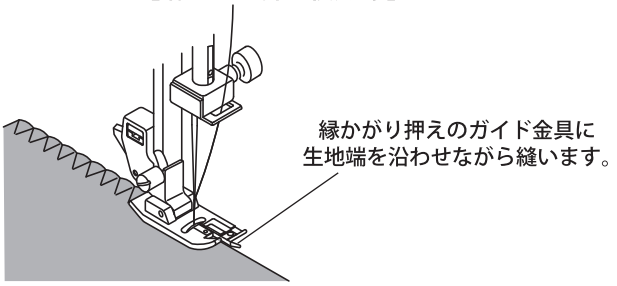
● 縫いかた

上図のいずれかの縫い模様を選びます。
『はずみ車』を手前に回して針が右に来た際に、生地端より針が少し外れるように生地を置き、
『押え上げレバー』を下げます。

【ジグザグ押え・スムース押え使用時】



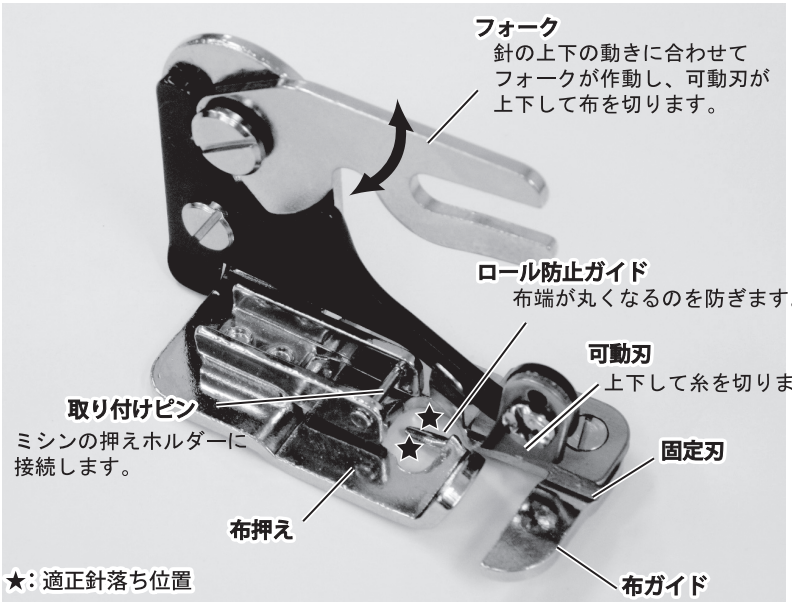
【縁かがり押え使用時】



ロックカッター

注意

- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。
- **模様選択の際は針を上げる。** 針が折れケガをする恐れがあります。
- **針の振り幅を『 4.5 ～ 5.5 』にする。** 針折れや部品の破損にもつながります。
- **縫い目の長さ（布送り量）は『 2.5 ～ 4.0 』でご使用ください。**
- **12 オンスデニム (1 枚) 以上の厚みの生地は切れません。**
- **ご使用中はミシンの針、フォークや可動刃には絶対に指を近付けないで下さい。**

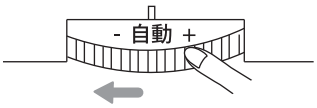


注意

縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別生地で試し縫いを行ってください。

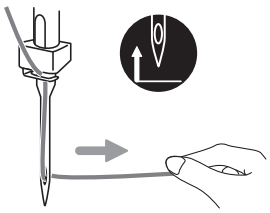
ポイント

伸縮性の生地や薄い生地は不織布（芯地）を裏に貼るとよりきれいに仕上がります。

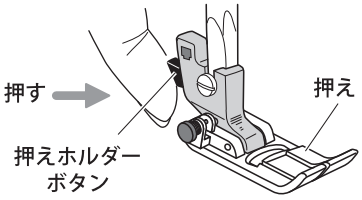


直線縫いよりも上糸調整ダイヤルをやや弱めにするときれいに縫えます。

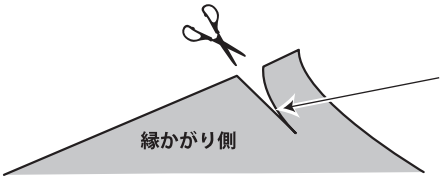
準備



電源を『 OFF 』にします。
針を最上位にし、
糸を針穴へ通します。



押えを外します。
（ P 8 参照 ）

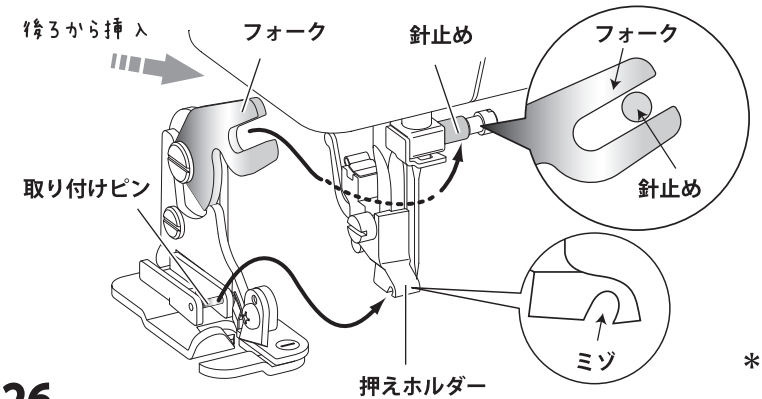


生地に 2cm 以上の切込みを
入れておきます。

● 取り付けかた

注意

- **電源スイッチを『 OFF 』にし電源コードプラグを コンセントから抜く。** 突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。



1 **『 ロックカッター 』のフォークを『 針止め 』に掛け、『 押えホルダーのミゾ 』と『 ロックカッター 』の『 取り付けピン 』の位置を合わせ『 押え上げレバー 』を下ろします。**

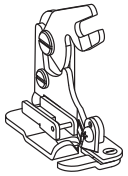
2 **『 押え上げレバー 』を上げ下げしてミシンに確実に取り付けられているかを確認して下さい。**

＊ **ロックカッターを外す際は【押えの取り外し】と同様の方法で行ってください。(P8 参照)**

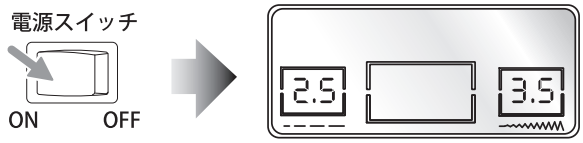
● 縫いかた

注意

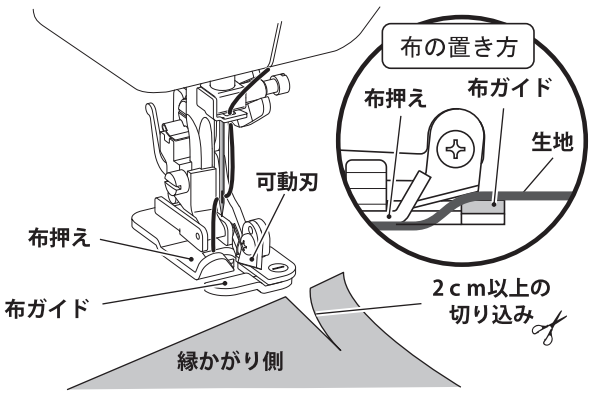
- **ロックカッターを使用する際は、下記の使用可能縫い模様以外は使用出来ません。**針が折れケガをする恐れがあります。
- **ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針がロックカッターに当らないことを確認してください。**
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。

押え	縫い目長さ	使用可能縫い模様	針振り幅
 ロックカッター	2.5 ～ 4	006 018 019 039 041	4.5 ～ 5.5

＊ 返し縫や止め縫いは出来ません。

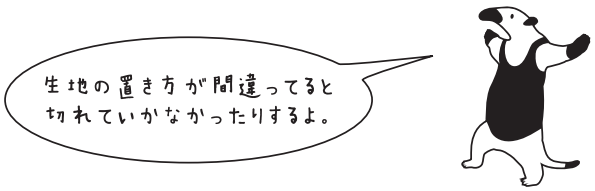


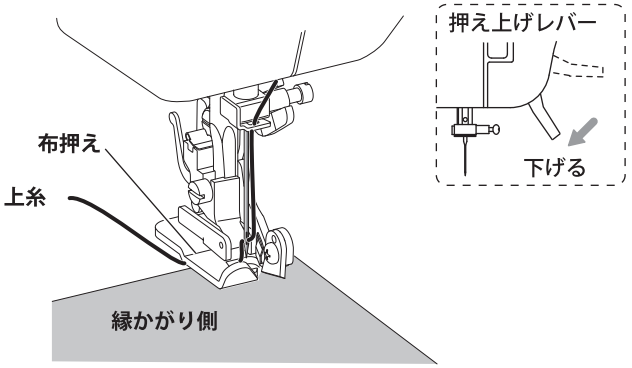
1 **『電源スイッチ』を【ON】にし、縫い模様を選びます。**



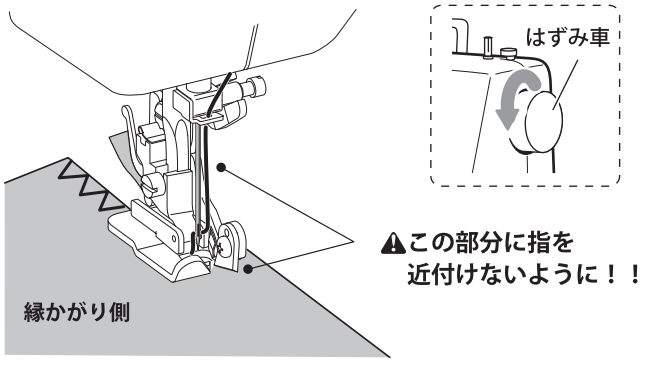
2 **切り込みを入れた部分を、『可動刃』で左右に分かれる様に差し込みます。**
(針が落ちる位置よりも奥まで生地を差し込む)

この時、縁かがり側の生地は『布ガイド』の上を通り『布押え』の下側を通るようにセットします。





3 **上糸を『布押え』の下を通し、『押え上げレバー』を下ろします。**



⚠この部分に指を近付けないように！！

4 **『はずみ車』を手動で手前に回し針がどこにも当たらないかを必ず確認して下さい。**
当たらないのを確認後、電源を入れゆっくりと縫い始めます。

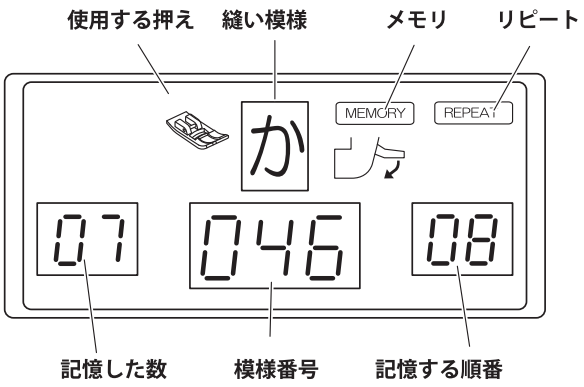
文字縫い・絵柄縫い・飾り縫い

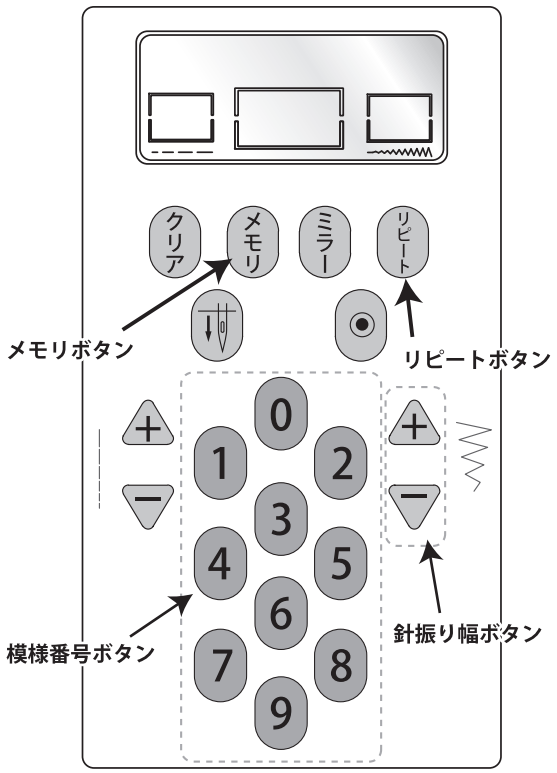
1. 文字 (模様 131 ～ 284) や絵柄 (模様 109 ～ 130)、飾り模様（025 ～ 108）を縫う

1-1：文字や絵柄を縫う【 一点縫い：模様番号 109 ～ 284 】

- 『 模様番号ボタン 』で縫いたい文字や絵柄の番号 (3 ケタ) を選びます。
- ミシンをスタートさせると液晶画面に表示されている文字や絵柄を
  1 つだけ縫い、止め縫いをして止まります。

《液晶画面》



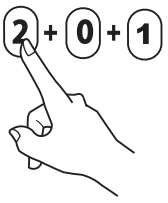


1-2：連続して文字や絵柄を縫う【 リピート縫い：模様番号 109 ～ 284 】

- 『 リピートボタン 』を押すとボタンが点灯し液晶画面に <REPEAT> が点灯します。
- 『 模様番号ボタン 』で選んだ模様を連続して縫います。
- 縫っている際にもう一度『 リピートボタン 』を押すと液晶画面の <REPEAT> と
  ボタンが消灯し文字や絵柄を完成させてから止め縫いをして止まります。

1-3：複数の模様を選択する【 記憶縫い : 模様番号 025 ～ 284 】

- 『 メモリボタン 』を押すとボタンが点灯し液晶画面に < MEMORRY> が点灯します。
- 記憶したい模様の番号を 3 ケタずつ押します。
- 次に記憶したい模様の番号を 3 ケタ押します。
- 『 リピートボタン 』を使うと記憶した模様を連続して縫えます。
- 記憶縫いの際は振り幅と送り長さは変更できません。



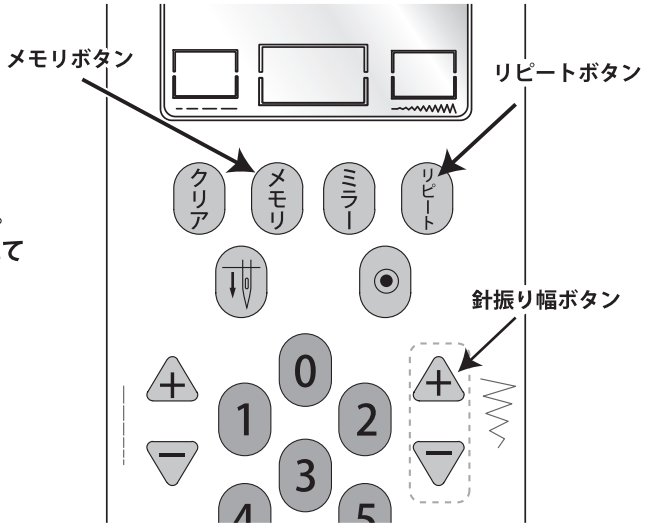
例えば…『りんご』と記憶する場合
メモリボタン→り（240)→ん（246)→ご（251)→スタート / ストップボタンで縫い始めます。
(刺しゅうが終わると、ミシンは自動で止まります。一旦途中で止めると、途中止めた時点からの刺しゅうになります。)
＊　60 個まで記憶出来ます。

2. 記憶した模様の確認

メモリの模様の記憶入力が終わったら、縫う前に確認します。
入力済みの模様の数は画面左下に示されます。

- 針振り幅の ▽ ボタンを 1 度押すごとに 1 文字前の記憶模様に戻ります。
- 針振り幅の △ ボタンを 1 度押すごとに記憶模様が進みます。

注意：操作パネルのメモリボタンは記憶操作中に押さないでください。記憶した模様が全て消去されます。また、電源スイッチを『OFF』にすると、記憶されている模様は全て消去されます。



3. 文字縫い・絵柄縫い・飾り縫いの縫いかた

注意

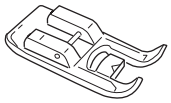
・押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

3-1：伸びる生地や薄地、織りの粗い生地には接着芯を貼ります。

＊ 接着芯を貼りたくない際はハトロン紙などの薄紙を生地の下に敷き一緒に縫ってください。

3-2：押えを交換します。

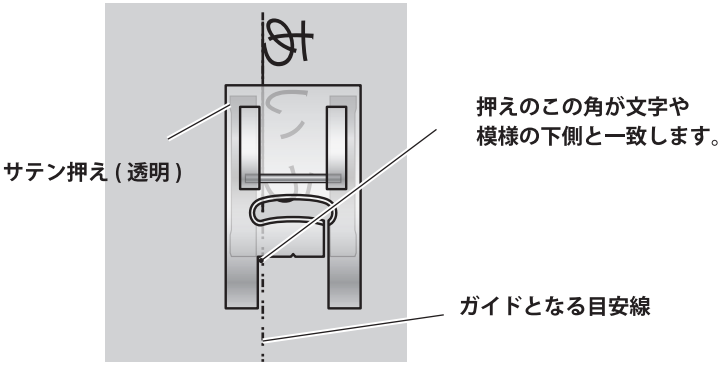


サテン押え (透明) を使用します。

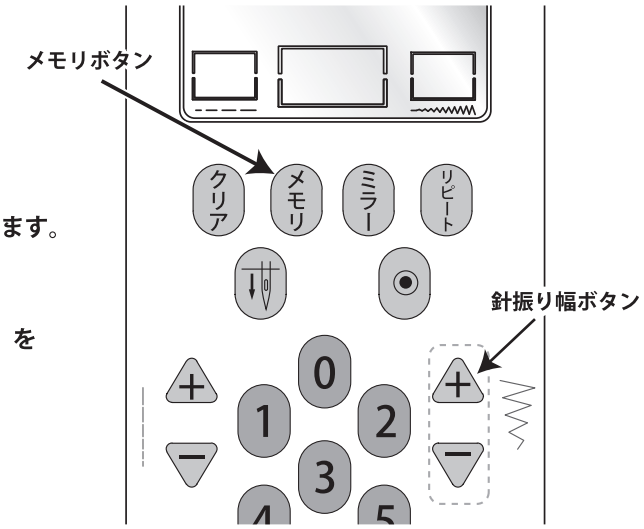
＊ サテン押え（透明）以外では模様がきれいに縫えません。

3-3：生地には軽く手をそえて縫います。

・縫う際には生地を強く引っ張ったり押えたりすると、模様がきれいに縫えません。
・模様によっては生地が前後に動いたり、生地がまっすぐに送られないことがあります。
生地にはガイドとなる目安の線を引くなどをし、まっすぐに生地を送るように軽く手をそえて縫ってください。



4. 記憶模様の消去



一括消去：記憶されていた模様を全て消去する際は、点灯している『メモリボタン』を押します。

＊　注意：記憶操作中に『メモリボタン』を押すと、一括消去されます。

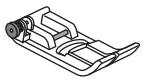
部分消去：針振り幅ボタンで消したい模様を選択し、『クリアボタン』を押します。

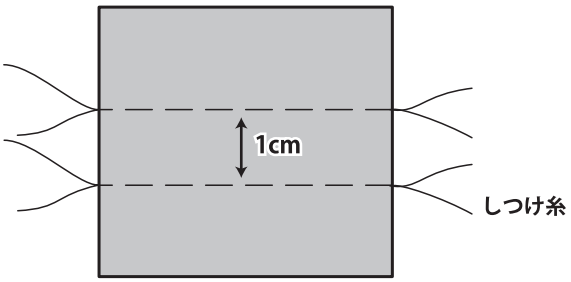
スモッキング

注意

・押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

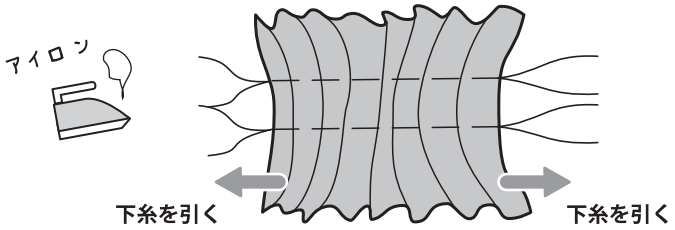
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	縫い目長さ	模様表示
 ジグザグ押え	5.0	001 中基線

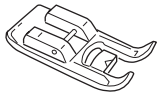


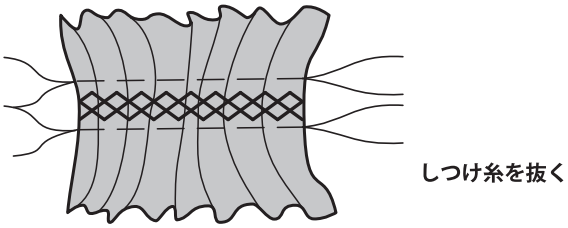
1 スモッキングの模様を入れる両脇にしつけを1cm の間隔で直線縫いをします。

＊糸調子弱く



2 しつけ糸の下糸を引いてギャザーを寄せアイロンで整えます。

押え	模様表示
 サテン押え	035  082 

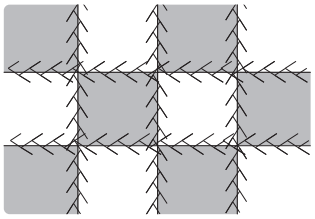


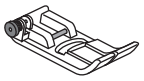
3 『サテン押え』に交換し、しつけ糸の間にスモッキングの模様を縫い、しつけ糸を外します。

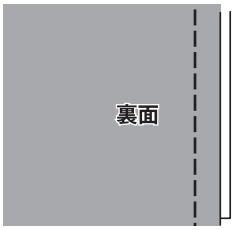
パッチワーク

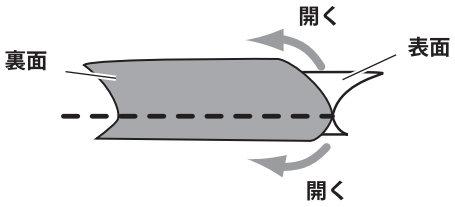
色々な生地をつなぎ合わせ、装飾に用います。

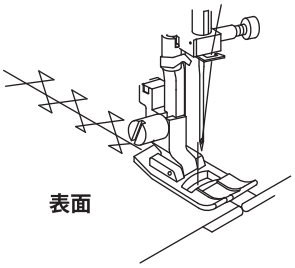
注意 ・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



押え	模様表示
 ジグザグ押え	026  035  082 







1 2 枚の生地を中表にし、直線縫いで縫い合わせます。

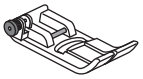
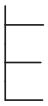
2 縫い合わせを開きます。

3 両方の生地に模様がまたがるように縫います。

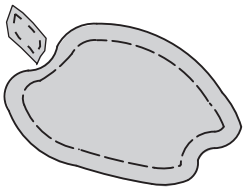
アップリケ

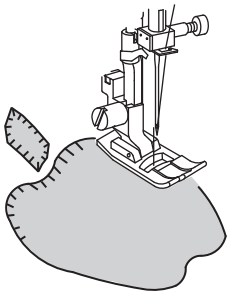
市販や自作のアップリケ布を別生地の上に縫い付けます。

注意 ・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示
 ジグザグ押え	039 

＊ 縫い方向を変える際は、アップリケ布の外側に針を刺し、押えを上げ生地全体を回します。





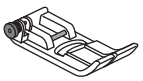
1 アップリケ布を生地にしつけるか、布用ボンドで仮止めします。

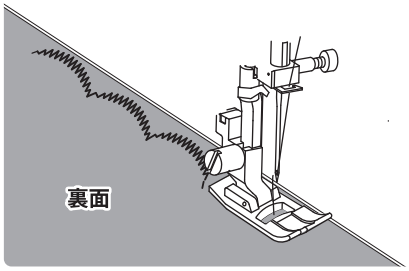
2 アップリケ布の回りを縫い付けます。

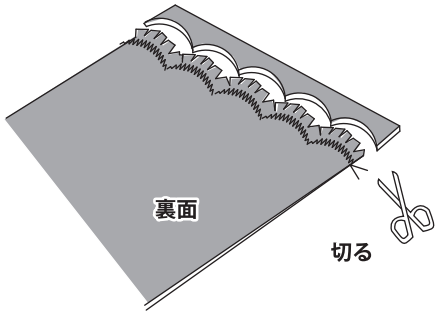
スカラップ

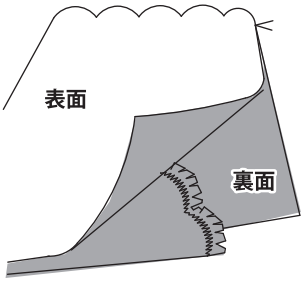
子供服やテーブルクロスなどの生地端を装飾する際に用います。

注意 ・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示
 ジグザグ押え	097 







1 2 枚の生地を中表に合わせ、生地端に沿って縫い合わせます。

2 縫い目から 3mm のところで輪郭に沿って生地端を切ります。
＊ 切り落とした後の縫いしろに、細かく切り込みを入れておきます。

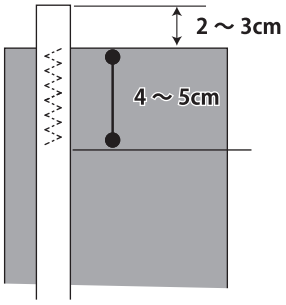
3 生地を内側へ返し輪郭を整えます。

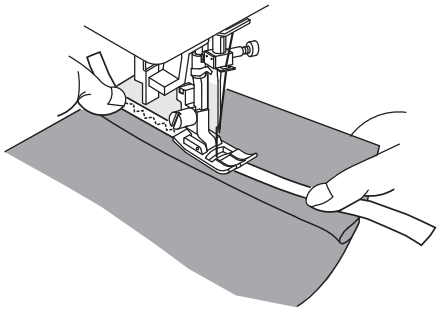
ゴムテープ付け

袖口などのゴム付けを
きれいに縫えます。

注意
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示
ジグザグ押え	015





1 ゴムテープは用途の長さより
4 ～ 6cm 長めに切ります。

2 生地に対しゴムテープを 2 ～ 3cm
はみ出し、4 ～ 5cm 縫いミシンを
止めます。
（この間、ゴムは伸ばさないでください。）

3 縫い終わり側のゴムテープ端を
伸ばして、生地と一緒に押えながら
縫います。

＊ 目飛びをする際は針をニット用の針に交換してください。

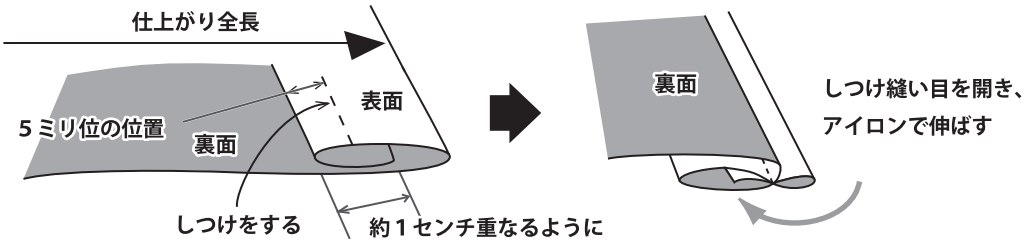
まつり縫い（ブラインドステッチ）

スカートやズボンの裾上げをする際に用います。
生地の表面に目立たない縫い目です。

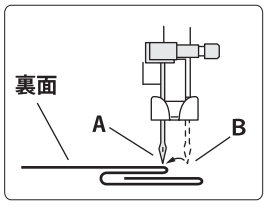
押え	模様表示
まつり縫い押え	021　022

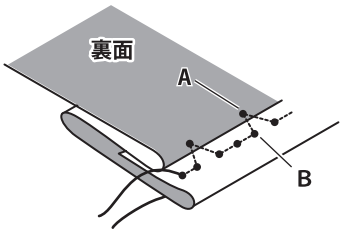
縫い模様【022】は伸縮する生地に使用します。

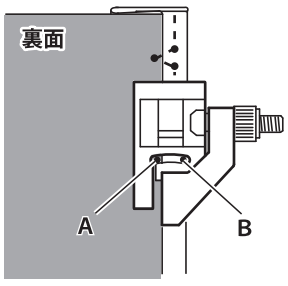
注意
・押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。
・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。



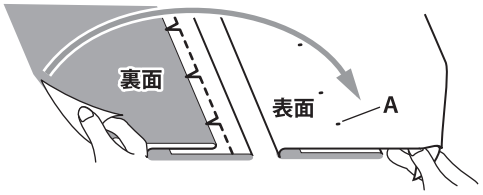
1 生地を図のように折り、しつけをします。







2 『はずみ車』を手前に回し針を左側でゆっくり下げ、
生地の折り山（A）にわずかに針がかかるよう、
生地の位置を合わせて縫います。
（針がかかる量が少ないほど、表面に目立ちにくくなります。
また、生地の折り山に針が掛からないと仕上がりが
目飛びをします。）



3 生地を返し、しつけ糸を抜きます。

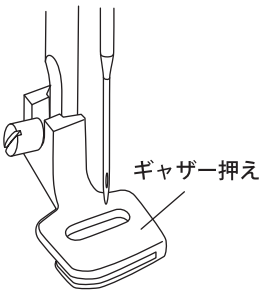
ギャザー押え

簡単にギャザーを寄せることが出来ます。

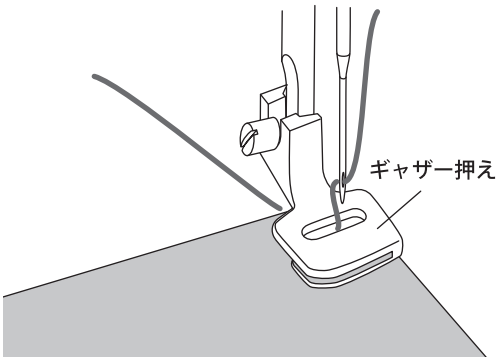
押え	模様表示
	
ギャザー押え	中基線

注意

- **ギャザー押え使用時は返し縫いが出来ない。**
- **ギャザー押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様【001】以外は使用不可。**
  （中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。）
- **ギャザー押えが上がった状態で針を下げると、ギャザー押えに接触することがある。**
- **ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当らないことを確認する。** ケガをする恐れがあります。
- **押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。**
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。



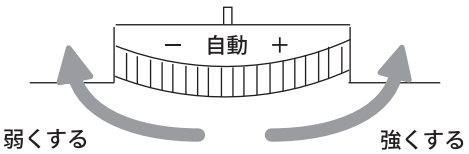
1 **『押えホルダー』を外し (P9 参照)**
『ギャザー押え』を取り付けます。

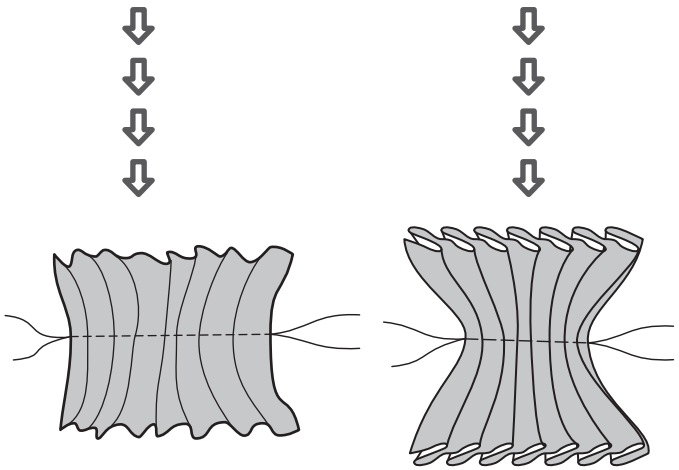


2 **『ギャザー押え』の穴に上糸を上から通し、**
生地を押えの下に置き、『ギャザー押え』を下げ縫います。

糸調子によってギャザーの寄りかたが変わります。

＜上糸調節ダイヤル＞

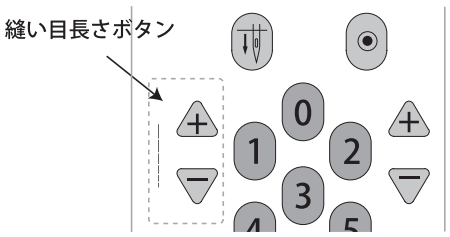




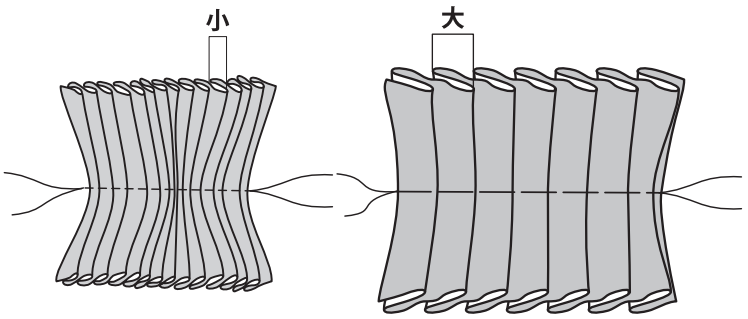
ギャザーの寄りかた

縫い目長さによってヒダの大きさが変わります。

＜操作パネル＞



－ 縫い目を細かくする　　縫い目を粗くする ＋

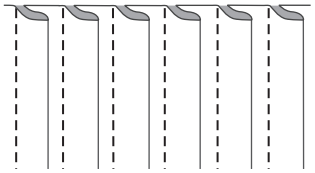


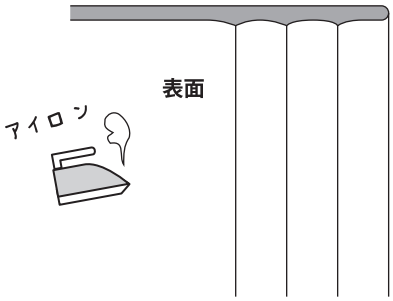
ヒダの大きさ

ピンタック

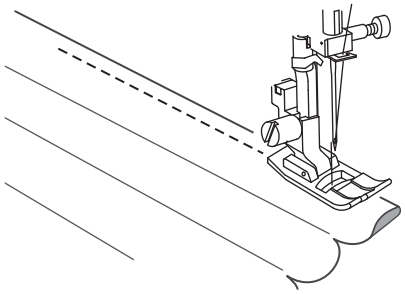
注意 ・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示
ジグザグ押え	001 中基線　002 左基線

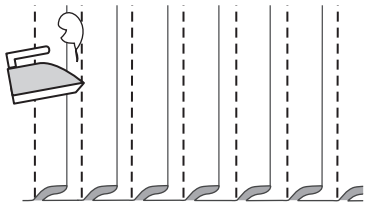




1 アイロンでピンタックの折山を整えます。



2 折山を伸ばさないようにピンタックを縫います。



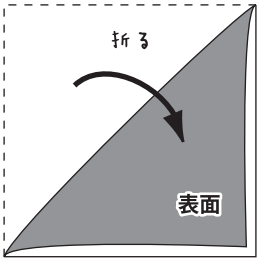
3 アイロンで片側に倒します。

シェルタック

ブラウスなどの装飾に用います。
ジョーゼットなどやわらかい生地にオススメです。

注意 ・押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

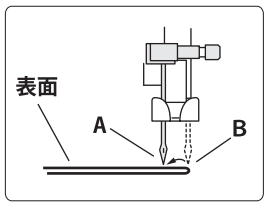
押え	模様表示
まつり縫い押え	020

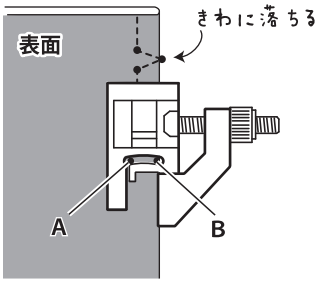


1 生地をバイヤスに 2 つ折りします。

＊ バイヤス：斜めという意味。
生地の縦地や横の布目に対して
45° に折ったり裁断したもの。

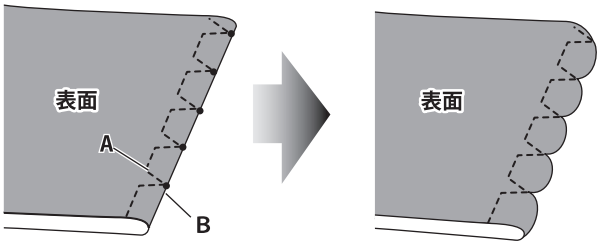






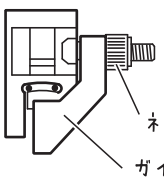
2 右側が生地の【わ】になるように『押え』の下にセットし『はずみ車』を手前に回し針をゆっくり下げます。
右の針落ちが生地の折り山のきわ（生地の外側）に落ちるように縫います。

糸調子を少し強めにセットすると生地が左側に引き寄せられ、見がらのようなに仕上がります。



シェルタック完成

まつり縫い押え



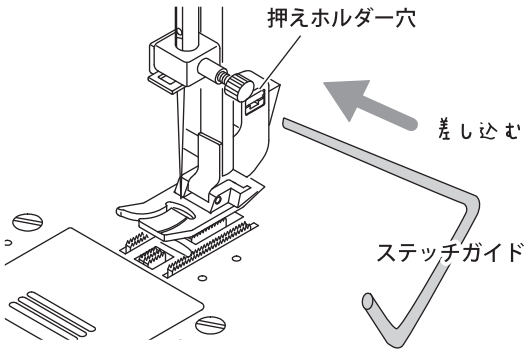
『まつり縫い押え』の『ガイド部分』が生地の折山に来るように、『ネジ』を回しガイドの位置を調節します。

ステッチガイド

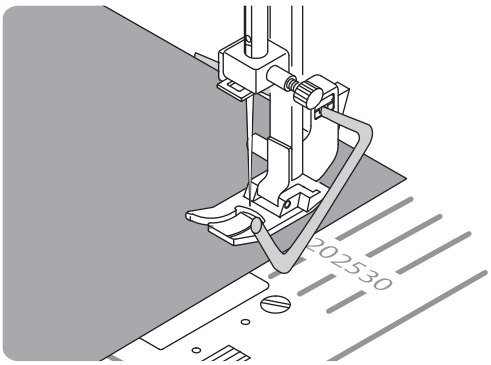
ステッチガイドを使用すると、縫い目の目安になります。

注意

- **ステッチガイド挿入時は 電源スイッチを『OFF』にする。** 突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。

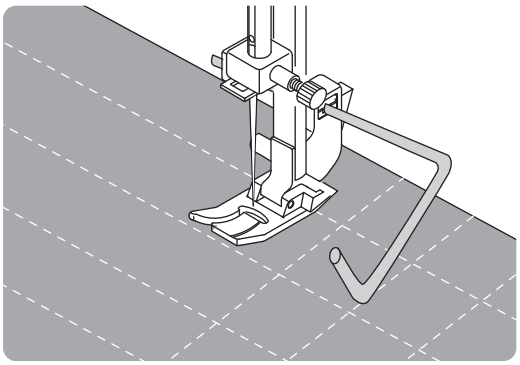


『押えホルダー穴』に『ステッチガイド』を差しこみます。
(『押えホルダー』の右から差し込みます。)



● 端縫い

針板の数字を目安に『ステッチガイド』の位置を定め縫いしろの端と『ステッチガイド』が合うように縫います。



● キルティング

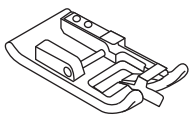
縫い終わった縫い目と『ステッチガイド』が合うように縫います。

ガイド押え

ガイド押えを使用すると、トップステッチや落としミシンなどの折山のきわをきれいに縫うことができます。

注意

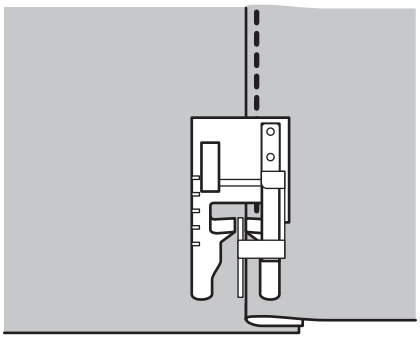
- **押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。** 突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。
- **一部使用の出来ない縫い模様もありますので、必ず試し縫いを行ってください。**
- **ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当らないことを確認してください。**

押え	縫い目長さ	模様表示	針振り幅
 ガイド押え	1.0 ～ 5.0	002  左基線	0.0 ～ 7.0

006 015 020 023 024

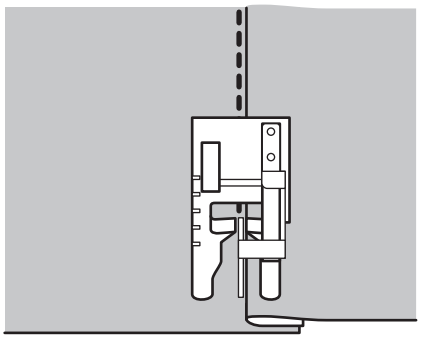


＊ガイド押えはその他のジグザグ縫いにも使えます。



●トップステッチ

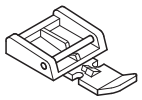
ガイドを折山のきわに当て、左基線模様【002】を選択し、好みのステッチ位置に針位置を調節します。



●落としミシン

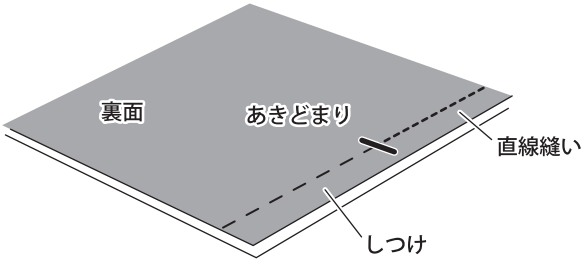
ガイドを折山のきわに当て、左基線模様【002】を選択し折山のきわに針が落ちるように針位置を調節します

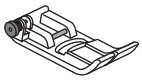
ファスナー付け＜突き合わせ＞

押え	模様表示
 ファスナー付け押え	001 中基線

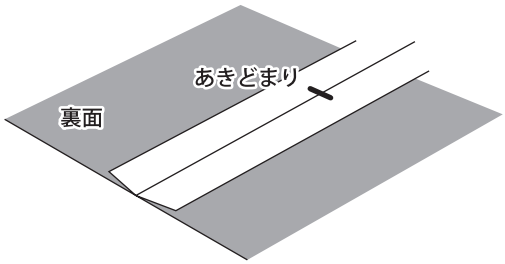
注意

- **ファスナー付け押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様【001】以外は使用出来ません。**
  中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。
- **ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当らないことを確認してください。**
- **押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。** 突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意してください。** ケガをする恐れがあります。

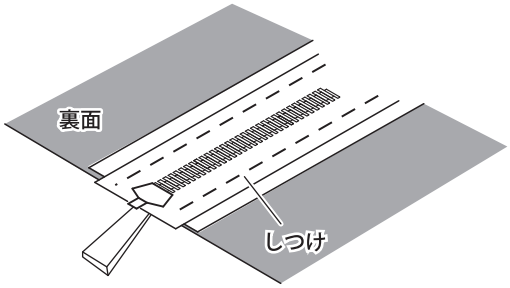


押え	模様表示
 ジグザグ押え	001 中基線

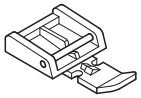
1 **縫い模様を中基線の直線縫い模様【001】にします。**
中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで直線縫いをします。
ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



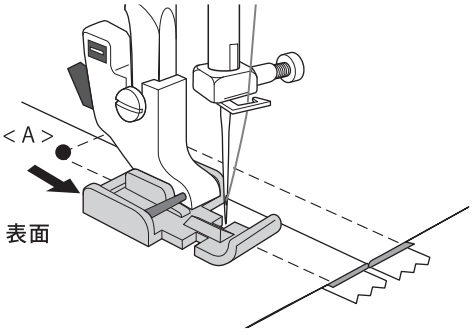
2 **縫い合わせを開きアイロンをかけます。**



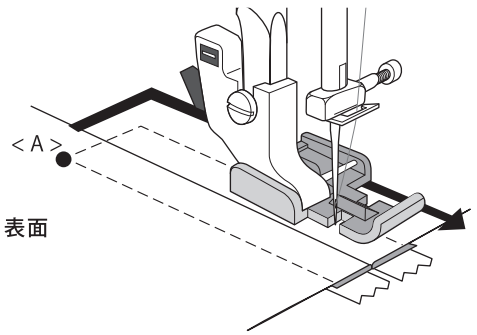
3 **開いた部分にファスナーの裏面が上になるようにしつけをします。**

押え	模様表示
 ファスナー付け押え	001 中基線

4 **『ファスナー付け押え』に交換します。（P8参照）**
＊ ファスナーの左側を縫う際は、『ファスナー付け押え』の右部分を使用します。
＊ 縫い目の長さを1.0以上にします。



5 **ファスナー左を＜A＞から矢印の方向へ縫います。**
生地のつき合わせから7～10mm離し縫います。

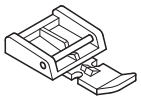


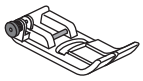
6 **『ファスナー付け押え』を左側に付け替え、ファスナー右を＜A＞から矢印の方向へ縫います。**
しつけ糸を抜きます。

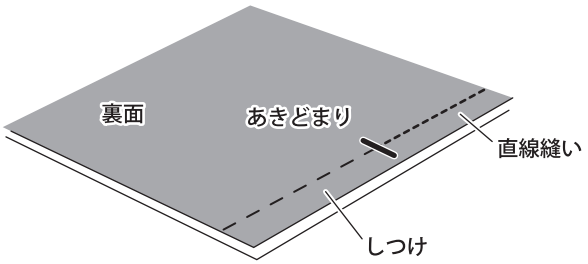
ファスナー付け＜脇あき＞

注意

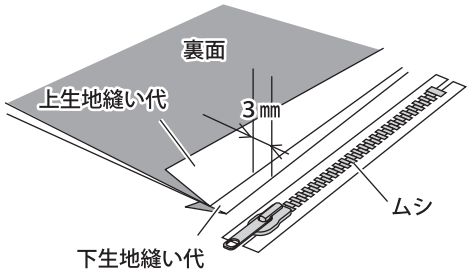
- **ファスナー付け押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様＜001＞以外は使用出来ません。**
  中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。
- **ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当らないことを確認してください。**
- **押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。** 突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意してください。** ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示
 ファスナー付け押え	001 中基線

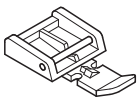
押え	模様表示
 ジグザグ押え	001 中基線



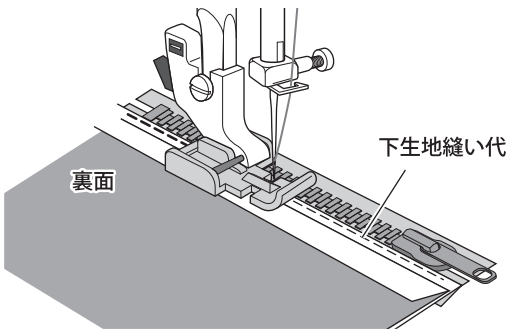
1 **縫い模様を中基線の直線縫い模様【001】にします。**
中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで直線縫いをします。
ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



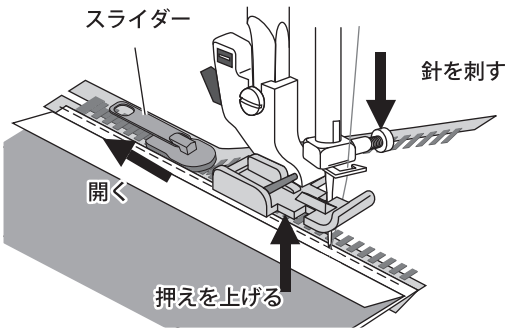
2 **上生地を縫い代まで割り、下生地は縫い代を3mm残して折ります。**
折り山の下にファスナーのムシを合わせ、しつけをします。
（スライダーを手前に倒しておきます。）

押え	模様表示
 ファスナー付け押え	001 中基線

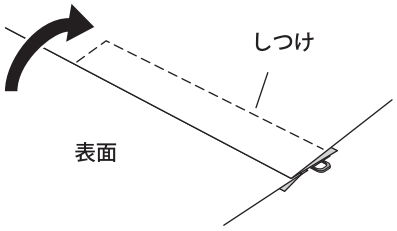
3 **『ファスナー付け押え』に交換します。（P8参照）**
＊ ファスナーの左側を縫う際は、『ファスナー付け押え』の右部分を使用します。
＊ 縫い目の長さを1.0以上にします。



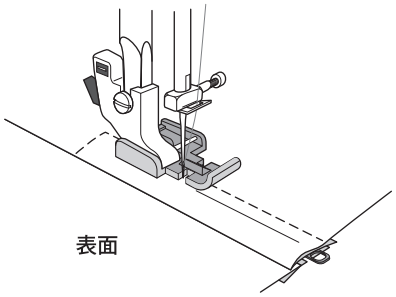
4 **ファスナー左部分をあき止まりから下生地縫い代に縫い付けます。**



5 **ファスナーのスライダー部分まで針がきたら、ミシンを一度止め針を生地に刺します。**
『ファスナー付け押え』を上げ、スライダーを下げムシを開き残りを縫います。



6 上生地を開き、ファスナーを閉じてから
あき止まりとファスナー右部分をしつけをします。



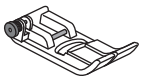
7 『ファスナー付け押え』を左側に付け替え、
裏に隠れたファスナー右部分を縫い付けます。
しつけ糸を抜きます。

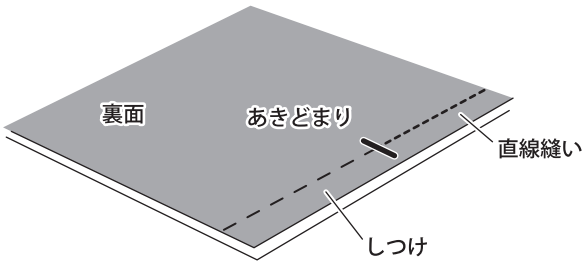
コンシール® ファスナー付け

押え	模様表示
 コンシール® ファスナー付け押え	001 中基線

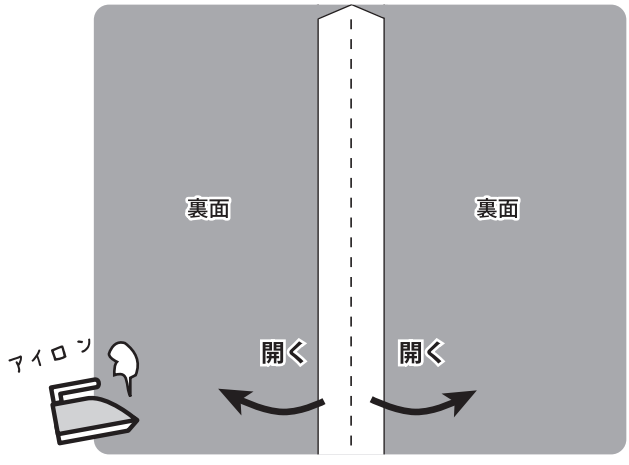
注意

- **コンシール®ファスナー付け押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様＜001＞以外は使用出来ません。** 中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。
- **ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当らないことを確認してください。**
- **押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。** 突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意してください。** ケガをする恐れがあります。

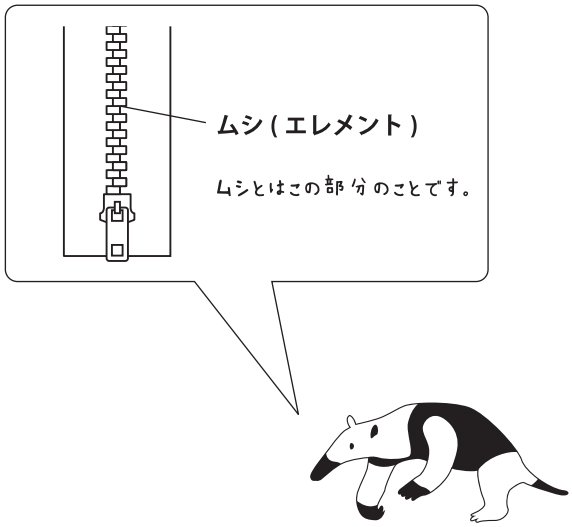
押え	模様表示
 ジグザグ押え	001 中基線



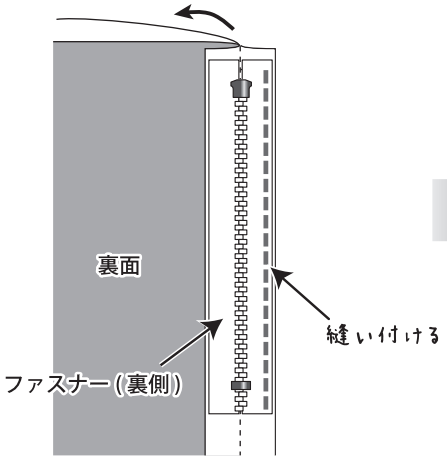
1 縫い模様を中基線の直線縫い模様【001】にします。
中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで直線縫いをします。
コンシール®ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



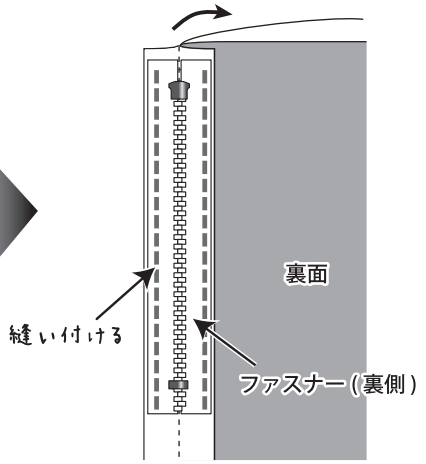
2 **1** で縫い合わせたところをアイロンで割ります。



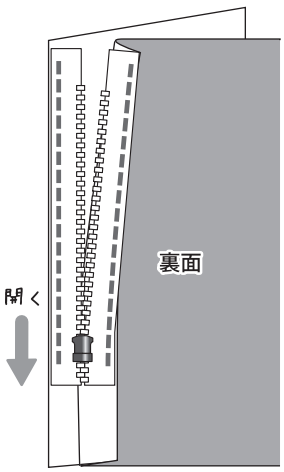
＊ コンシールは YKK 株式会社の商標です。



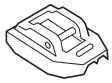
3 ファスナーの位置がズレない様に注意しながらファスナーのテープ端を『ジグザグ押え』（直線縫い）で縫い付けます。



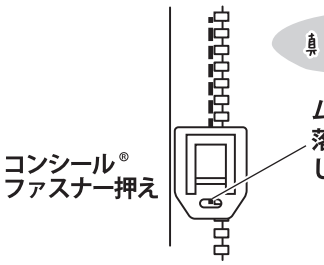
4 図の様に反転して開き、反対側のテープ端を縫い付けます。



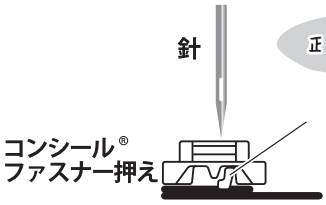
5 **1** で縫い合わせたしつけ糸を外しファスナーを開きます。

押え	模様表示
 コンシール® ファスナー付け押え	 001 中基線

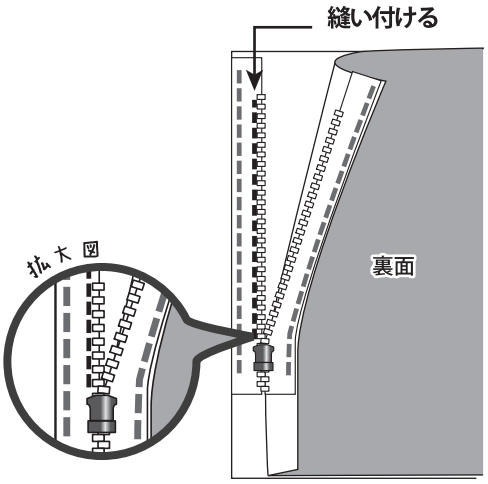
6 『コンシール® ファスナー付け押え』に交換します。（P8参照）



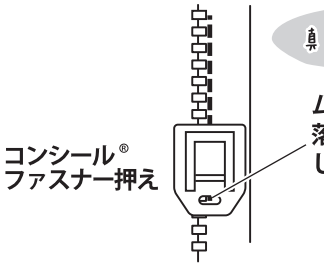
ムシのすぐ横に針が落ちる位置にガイドします。



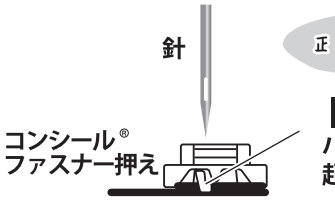
こちら側のミゾにハマる様にムシを起こします。



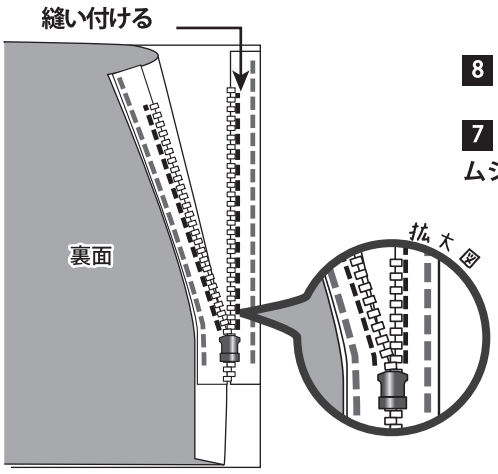
7
『コンシール®ファスナー押え』のミゾにファスナーのムシを起こしながら縫い付けます。



ムシのすぐ横に針が落ちる位置にガイドします。



7 と反対側のミゾにハマる様にムシを起こします。



8

7 と反対側のミゾにファスナーのムシを起こしながら縫い付けます。

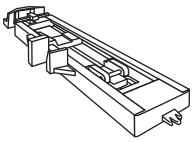
＊ コンシールは YKK 株式会社の登録商標です。

ボタンホール縫い

ボタンの大きさにあったボタンホールを縫う事が出来ます。
ボタンホールの形はボタンの大きさや形によって 8 種類の
ボタンホール縫いから選べます。

注意

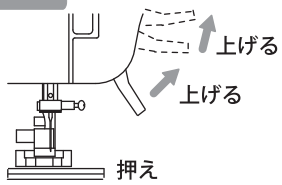
- 押え交換時は 電源スイッチを『OFF』にする。 突然動くとケガをする恐れがあります。
- 針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

ボタンホール押え	模様表示								
	薄地		普通地				厚地		
	007	011	008	009	012	014	010	013	

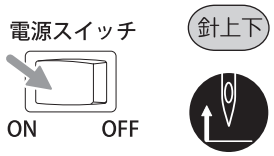
注意 縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別生地で
ボタンホールを作り、ボタンが通るかご確認ください。

ポイント 伸縮性の生地や薄い生地は不織布（芯地）を
裏に貼るとよりきれいに仕上がります。

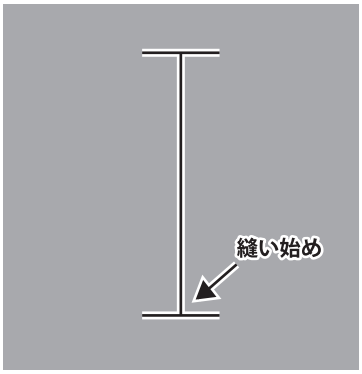
準備



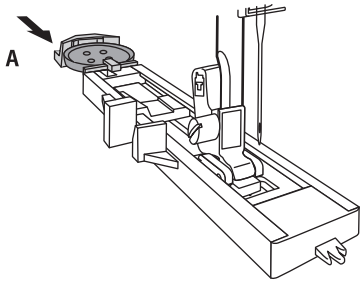
押え上げレバーを上げ
押えをボタンホール押えに
交換します。
（押え上げレバーは 2 段目まで
上げてください。P 8 参照）



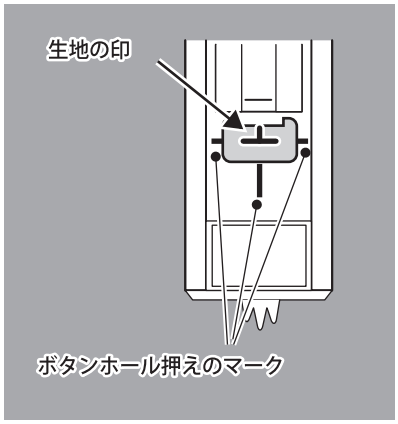
電源スイッチを『ON』にし、
針上下ボタンで針を上げます。
すぐに、電源スイッチを
『OFF』にします。



1 ボタンホールを作る生地に印を付けます。
＊ ボタンの大きさに印を付けておくと、
縫う方向を間違えません。

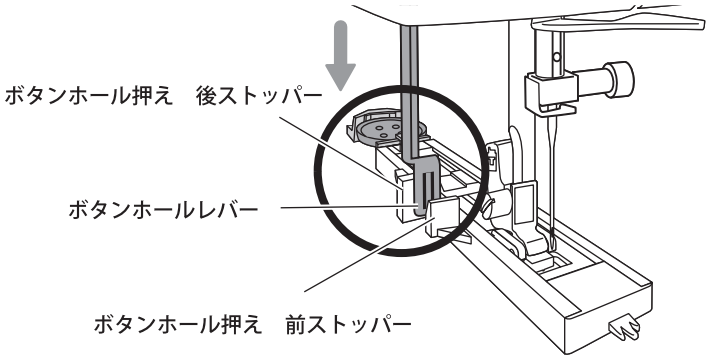


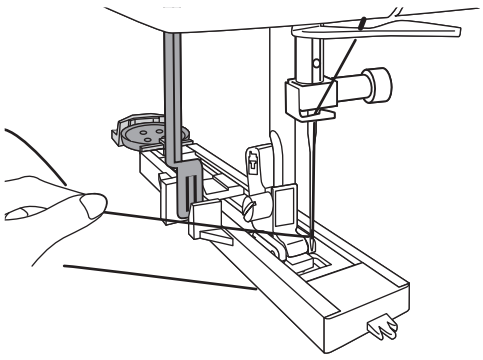
2 ボタンを『ボタンホール押え』の台にセットします。
＊ 『ボタンホール押え』の台は A の部分のみ
前後に動かせます。
＊ ボタンに厚みがある際は、ボタンの厚み分を
広げてください。



3 生地につけたボタンホールの印が押えの窓より見える
ようにして、生地を置きます。
『ボタンホール押え』のマークに合わせ、『押え上げレバー』で
『ボタンホール押え』を下げます。

＊ 印が斜めになっていると、ボタンホールが斜めに
作られますのでご注意ください。

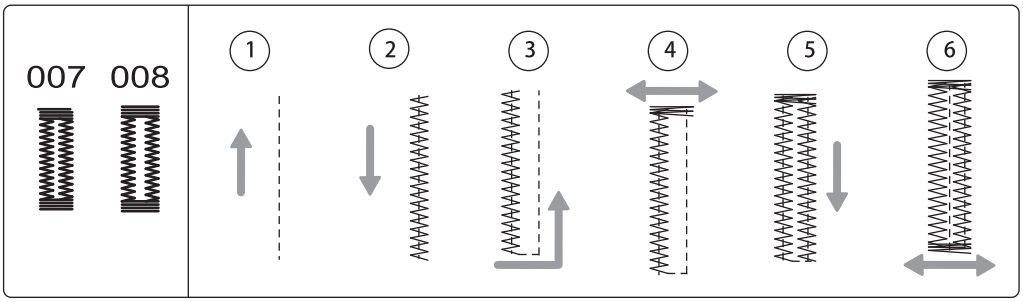


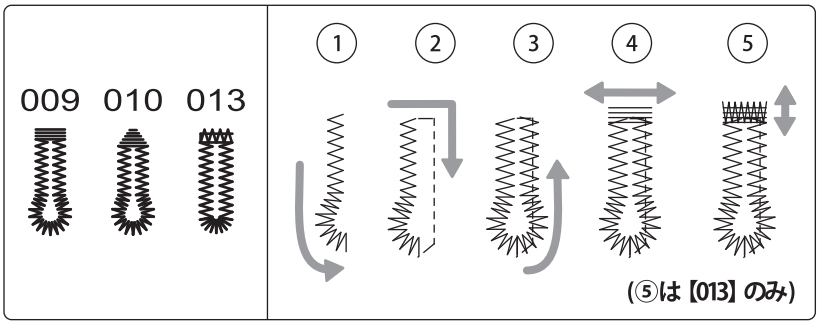


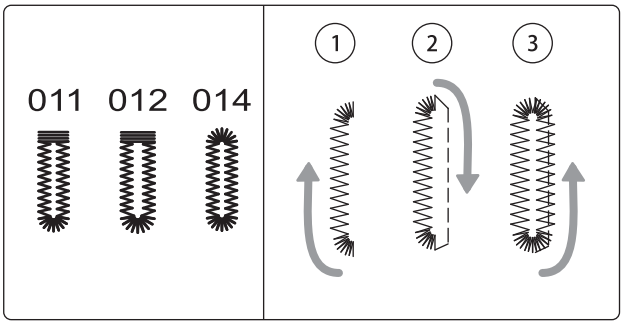
4 **『ボタンホールレバー』を下までいっぱいに下げます。**

＊ 『ボタンホールレバー』は『ボタンホール押え』の前後のストッパーの間に設置します。設置位置が間違っていると、ミシンが動きません。

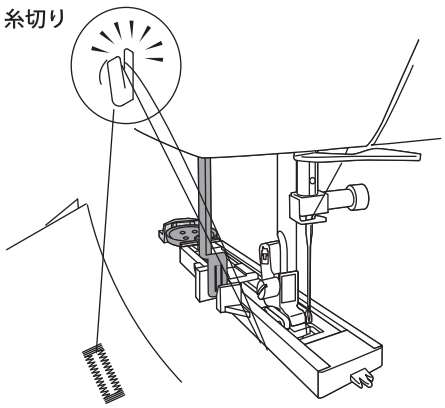
5 **上糸を軽く持ち、縫い始めます。針が 5 回ほど上下したところで一度ミシンを止め、持っている上糸を切ります。（この際『ボタンホールレバー』には触れないでください。）再度、『スタート / ストップボタン』を押し縫い始めます。**







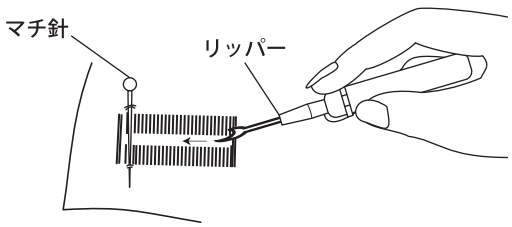
6 **ボタンホールは『スタート / ストップボタン』を押すと、図のような順序で縫っていきます。ボタンホールが完成するとミシンは自動で停止します。**



7 **針が完全に停止したのを確認し、『押え上げレバー』で『ボタンホール押え』を上げ糸切りで糸を切ります。**

注意

リッパーの先端に手をそえない。
ケガをする恐れがあります。



8 **ボタンホールの穴に付属の『リッパー』を刺し、押しながらボタン穴を切り開きます。**

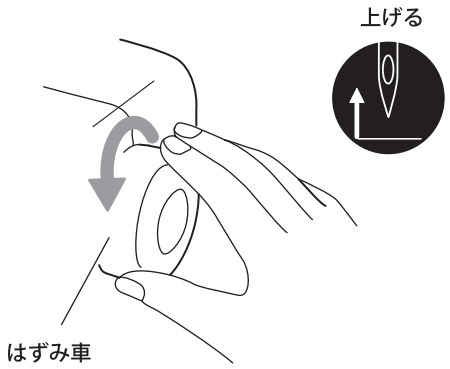
＊ マチ針をかんぬき部分に刺しておくと、切り開き過ぎを防げます。

針の取り替えかた

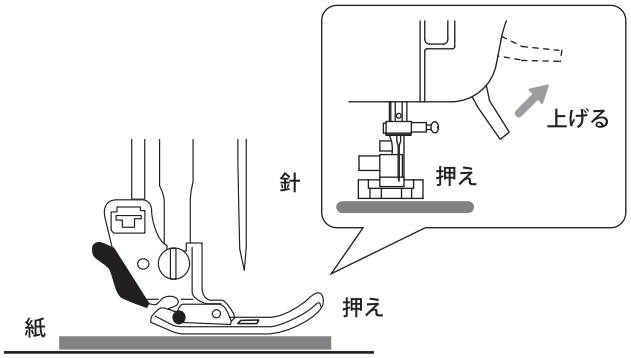
注意

- **電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。

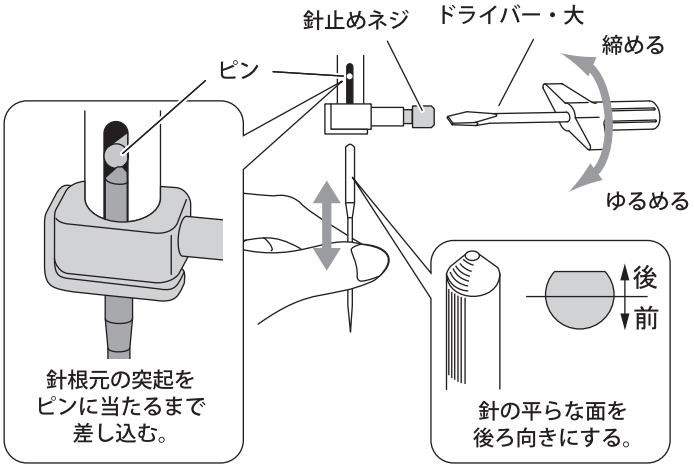
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。
- **針は平らな面を後ろ向きに付ける。**
  針が折れ、ケガをする恐れがあります。また、縫い目が出来ず縫えません。
- **針を交換する際は専用部品で交換する。**
  縫っている際に針が抜け、ケガをする恐れがあります。



1 **『はずみ車』を手前に回し、針を最上位にします。**



2 **『押え上げレバー』を上げ、針が穴に落ちないように『押え』の下に生地や紙などを敷き、『押え上げレバー』を下げます。**

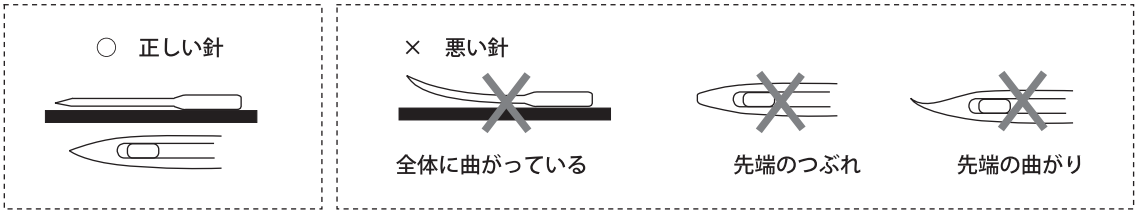


3 **外す　：取り付けられている針を持ち、『針止めネジ』をゆるめ、針を下に引き抜きます。**
付ける：平らな面を自分から見えないように持ち、『ピン』に当たるまで差込み、『針止めネジ』を締めます。

＊　付属の『ドライバー・大』をご使用ください。

正しい針の選びかた

- **曲がった針は使わないでください。**　**・家庭用ミシン針 (HA×1) をご使用ください。**
- **目飛び、糸絡みがする場合は、ミシンについている針先が曲がっていたり、つぶれていないかを確認してください。**
- **不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。**
  新しい針に交換してください。



＊　ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

ボビンケースのそうじ

● ボビンケースの外しかた

ミシン本体の汚れは、やわらかい生地で乾拭きしてください。
(住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、化学雑巾は表面の色が変わるため、ご使用しないでください。)

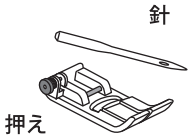
注意

- **電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。

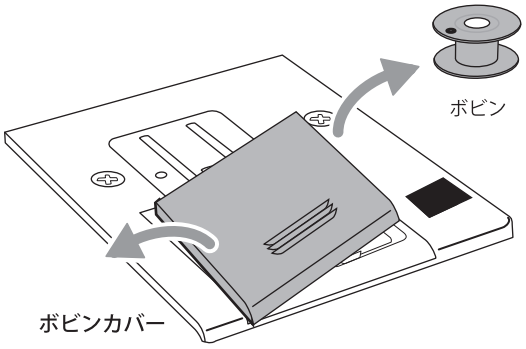
準備



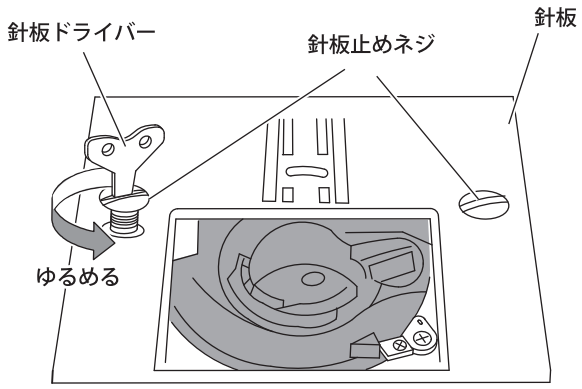
電源スイッチを『OFF』にし、電源コードプラグをコンセントから抜きます。



針と押えを外します。(P8・P42 参照)

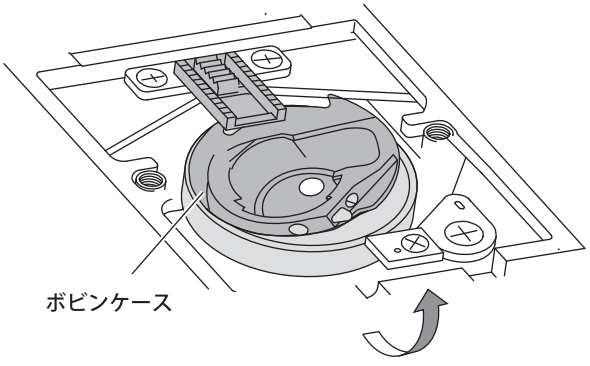


1 **『ボビンカバー』を外し、『ボビン』を取り出します。**

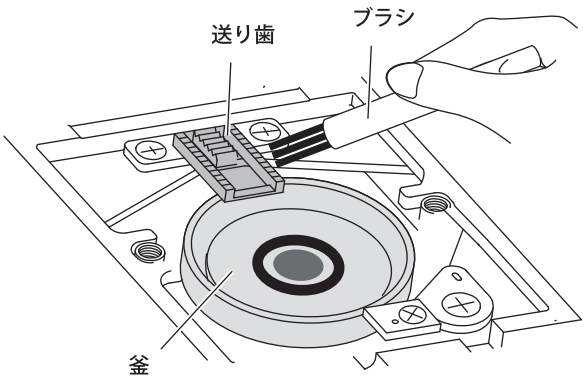


2 **『針板止めネジ』を『針板ドライバー』でゆるめ、『針板』を外します。**

『針止めネジ』をミシン内部に落とさないよう注意してください。



3 **『ボビンケース』を手前に引き抜きます。**



4 **『ボビンケース』『送り歯』のミゾや『釜』に付いている糸くずやホコリを取り除きます。**

● ボビンケースの付けかた

注意

・**電源スイッチを『 OFF 』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。**
突然動くとケガをする恐れがあります。

・**針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。

準備

電源スイッチ

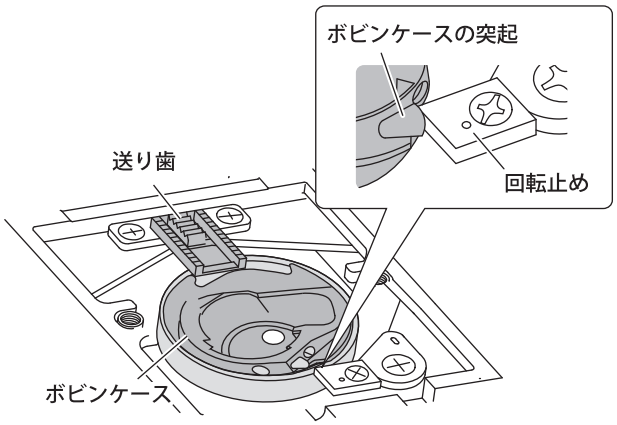
ON　OFF

電源スイッチを『 OFF 』にし、電源コードプラグをコンセントから抜きます。

針

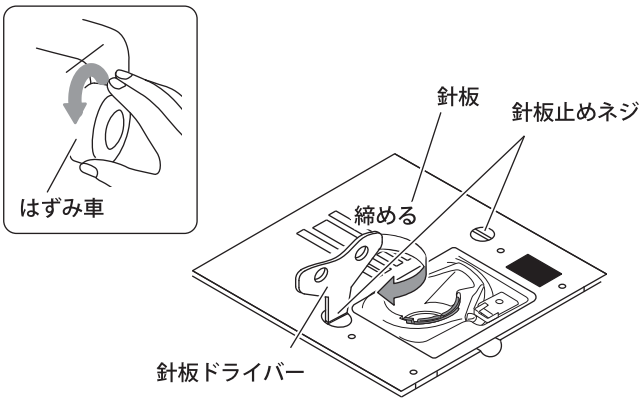
押え

針と押えを外します。
(P8・P42 参照)

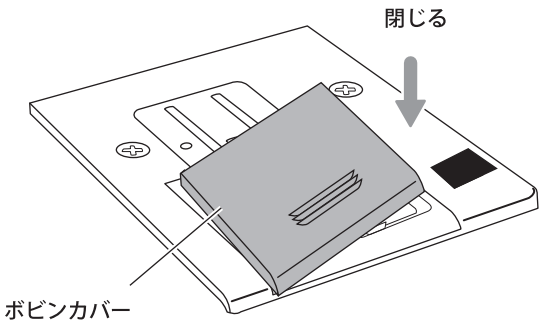


1 **『 ボビンケース 』の突起部が釜の回転止めに合うようにセットします。**

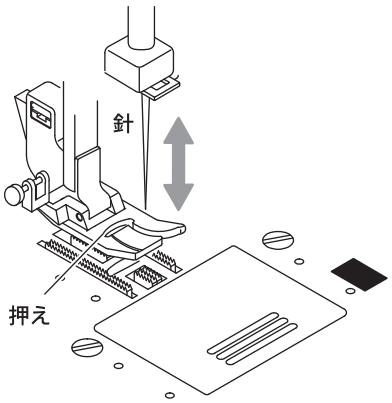
＊『 釜 』に『 ボビンケース 』を乗せた際に水平になるようにします。



2 **『 はずみ車 』を回し、スムースに回るか確認後『 針板止めネジ 』を『 針板ドライバー 』で締め『 針板 』を取り付けます。**



3 **『 ボビンカバー 』を閉じます。**



4 **針と『 押え 』を取付け、『 はずみ車 』を再度手前に回し針が針穴に正しく刺さることを確認します。**

(針取付け方法：P42 参照 / 押え取付け方法：P8 参照)

縫い模様一覧



- 直線押えは 001 のみが使用可能
- 006 018 019 039 041 は縁かがり押え、ロックカッターが使用可能
- 007 ～ 014 はボタンホール押え、025 ～ 284 はサテン押え（透明）を使用
- [ ] 187 は一文字分のスペースになります。

困ったときは…

不具合	原因	処理	頁
上糸が切れる	上糸、下糸の掛けかたが間違っている。	上糸、下糸を正しく掛け直す。	15 ～ 18
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を適度に弱める。	21
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	43 ～ 44
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に交換する。	42
	糸に結び目やコブがある。	結び目やコブの部分を取り除く。	-
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	20
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。	4・47
	糸が劣化している。	新しい糸に取り替える。	-
下糸が切れる	下糸の掛けかたが間違っている。	下糸を正しく掛け直す。	15
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。	4・47
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	43 ～ 44
縫い目がとぶ	針の取り付けかたが間違っている。	正しく針を取り付ける。	42
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に交換する。	42
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	20
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	16 ～ 18
生地がシワになる	上糸調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。	21
	上糸、下糸の掛けかたが間違っている。	上糸、下糸を正しく掛け直す。	16 ～ 18
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	20
生地を送らない	送り歯にホコリが溜まっている。	送り歯のホコリを取り除く。	43 ～ 44
	送り歯が下がっている。	送り歯をあげる。(ドロップフィード)	7
ボタンホールが出来ない	ボタンホールレバーがボタンホール押えストッパーに当たっていない。	ボタンホール押え外枠の手前隙間をなくす。 ボタンホールレバーを前後ストッパーの間に設置する。	41
模様の形がくずれる	ジグザグ押えを使用している。	サテン押えを使用する。	29
生地裏の糸がタオル状になる	上糸調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。	21
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	16 ～ 18
	上糸調子が弱すぎる。	上糸の調子を適度に強める。	21
回転が重い	釜や送り歯にホコリが溜まっている。	釜や送り歯のホコリを取り除く。	43 ～ 44

不具合	原因	処理	頁
ミシンが動かない (ライトも点灯しない)	電源コードプラグの差し込みが不十分。	電源コードプラグをしっかり奥まで差す。	10
	電源スイッチが『 OFF 』になっている。	電源スイッチを『 ON 』にする。	10
ミシンが動かない (スタートランプが 青にならない)	下糸巻き軸が右になっている。	下糸巻き軸を左にする。	15・19
	押えが上がっている。	押えを下げる。	8
	ボタンホール縫い模様になっている。	ボタンホール縫い模様以外の模様にする。	-
	ボタンホール縫い模様を選択し、 ボタンホール押えが付いていない。	ボタンホール押えを取り付ける。	40 ～ 41
	ボタンホール押えの手前枠に隙間がある。	押え上げレバーを上げ、ボタンホールの 手前枠を押しながら下げる。	41
	ボタンホールレバーを下げていない。	ボタンホールレバーを下まで下げる。	41

これらの現象、原因以外の不具合はミシン内部の調整や部品の磨耗による交換または電気系統の
故障が原因となっている可能性があります。ご購入店またはお客様相談係にご相談ください。

仕様

型式： HH-600	サイズ： H29.2×W44×D20cm	重量： 7.3kg	電源コード： コードリール式 (約 2m)
最大振り幅： 7 ㎜	最大送り量： 5 ㎜	返し縫い送り量：3.5 ㎜	ボタンホール： ワンステップ
定格電圧： 交流 100V	定格周波数： 50/60Hz	定格消費電力： 85W	使用針：家庭用ミシン針 (HA×1)
セーフティロック： モーターロック後<3 秒>で停止		回転速度： 100 ～ 900rpm	
ボビン：家庭用プラスチックボビン (高さ 11.5× 直径 20.5 ㎜)		釜タイプ： 水平全回転釜	

修理サービス要領

●修理サービスのご相談
1. このミシンのご購入者には、ご購入店から3年間の「無料修理保証書」が発行されます。
内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、
ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へ
お申しつけください。

●修理用部品の保存と供給
動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から
通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス
1. 取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障、損傷したとき。
ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または
改造したために不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元どおりに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

お問い合わせまたはご相談先 （純正部品のご購入方法）

ミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「お客様相談係」でも承っておりますのでご遠慮なくお申し越しください。

株式会社 アックス ヤマザキ
「お客様相談係」
〒544-0022　大阪府大阪市生野区舎利寺3-12-5
TEL. 06-6717-5851　FAX. 06-6741-7875

＊ 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。
＊ 純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「お客様相談係」におたずねください。

サービス工場のご案内

純正部品のご購入は、購入店または下記のサービス工場へお申し込みください。
ご購入頂きましたミシンは、下記の専門工場で点検修理等の サービスを致します。
なお、サービスには有償修理点検と無償修理点検とがあります。サービス工場にお問合せください。
※　ミシンを工場へ送付されるときは、このミシンの箱と緩衝材（クッション）をご利用ください。

送付先

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舎利寺 3-12-5　TEL:06-6717-5851　FAX：06-6741-7875
株式会社 アックス ヤマザキ　ミシンサービス係 行き
フリーダイヤル：0120-405-851　（土曜 / 日曜 / 祝祭日休み）
月～金曜日　午前 9：00 ～ 12：00　午後 1：00 ～ 5：00

MEMO

ミシン保証書

型　式		HH-600	機械番号	
※お買い上げ日		年　月　日	保証期間	お買い上げ日より本体 3年
※お客様	ご住所	〒　TEL　様方		
	ご芳名（フリガナ）	様		
※販売店	住所 店名	〒 TEL		

ご購入後には※印欄への記入の有無をご確認下さい。
記入がない時はご購入日、またはお届け日が証明できる伝票等を添付してください。
本書は再発行致しません。
紛失しないように大切に保管して下さい。

無料修理保証に付いて

1. 無料修理保証期間（ご購入の日から3ヵ年間）内に故障が発生した場合は、無料で故障箇所の修理調整、または故障部品の交換をいたします。
2. 無料修理保証は表記ミシン頭部のみとし、ケース、針及び電球、消耗部品を除きます。
3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
4. 保証機種がコンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシン等であるときは、そのミシンを購入店へご持参、またはご相談ください。

無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

1. 「取扱説明書」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
2. 浸水、冠水、火災、天災地変により不調故障または損傷したとき。
4. ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
7. この保証書のご提示がなかったとき。
8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
9. この保証書の字句の訂正または書き換えをしたとき。
10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。This warranty is valid only in Japan.

有償修理について

1. 上記の１.～10.に該当する場合、その他有料で修理するときの費用は、別に定める必要部品代出張費および技術料の合計額といたします。
2. コンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシンを、無料修理期間中にお客さまのご依頼によって販売店が出張修理する場合は、別に定める出張費をいただきます。

お問い合わせまたはご相談先

この保証書に記載してありますご購入店または、取扱説明書の「サービス工場のご案内」に記載された「お客さま相談係」へお申越しください。

お客さまへのお願い

1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客さまの権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客さま相談係」等へお問い合わせください。
2. 「取扱説明書」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。

【保証責任者】株式会社 アックス ヤマザキ
〒544-0022　大阪府大阪市生野区舎利寺 3-12-5
TEL：06-6717-5851

No.65　201210　PRINTED IN TAIWAN